

Empowering
the people
to connect

2016年12月期 決算説明資料



2017/2/16

1

企業情報

2

2016年12月期の状況

3

今後の方向性と、直近の動き

会社概要 (2016年12月末時点)

社名	株式会社ガイアックス (Gaiax Co.Ltd.)	
住所	東京都品川区西五反田1-21-8 KSS五反田ビル	
設立	1999年3月5日	
上場	名古屋証券取引所セントレックス市場	
代表者	代表執行役社長 上田 祐司	
事業内容	ソーシャルメディア・シェアリングサービス事業、インキュベーション事業	
加盟団体	一般社団法人シェアリングエコノミー協会 代表理事 一般社団法人 日本ブロックチェーン協会 理事	
連結子会社	株式会社電縁 アイ・オーシステムインテグレーション株式会社 株式会社シーエムエスエス 株式会社ベンチャー広報 株式会社テンエックスラボ 株式会社GXインキュベート 株式会社XStartup 株式会社notteco 株式会社Tadaku	アディッシュ株式会社 (アディッシュ仙台株式会社およびアディッシュ福岡株式会社は2017年1月1日付にてアディッシュ株式会社と合併) アディッシュプラス株式会社 adish International Corporation GaiaX Global Marketing & Ventures Pte. Ltd. XStartup Singapore Pte. Ltd.
従業員	380人(連結・正社員)	他 合計20社
決算	12月	
資本金	100百万円	
発行株式数	5,147,752株	
株主数	3,072名(2016年12月末時点)	



当社グループのミッション



Gaiaxグループ

安定成長

ソーシャルサービス事業

ソーシャルメディア領域

- ・コミュニティパッケージ
- ・企業向けブログ
- ・活性化サービス
- ・投稿モニタリング
- ・ソーシャルリスニング
- ・学校向けネットいじめ対策

ソーシャルアプリ領域

- ・カスタマーサポート
(対応代行業務)

企業内SNS領域

- ・社内SNS
- ・グループウェア

マーケティング支援領域

- ・ソーシャルマーケティング
- ・Webマーケティング支援
- ・デジタルコンテンツサービス

受託開発事業

システム
インテグレーション

システム
コンサルティング

戦略的成長

インキュベーション事業

グループ内インキュベーション

シェアリングエコノミー領域

- ・ライドシェア
- ・ミールシェア
- ・着地型観光

グループ外インキュベーション

シェアリングエコノミー領域

訪日インバウンド領域

当社の特徴

ソーシャルメディアの 総合サービス企業

ソーシャルメディアの構築・ 運営・投稿モニタリングを提供

- **構築**(企画、開発、パッケージ提供)
- **運営**(運用代行、ホスティング、コンテンツ提供、活性化支援、カスタマーサポート)
- **投稿モニタリング**(24時間投稿モニタリング、ソーシャルリスニング)

新たな事業・会社を生み、 育てる企業

グループ内での積極的な 事業開発とグループ外への 投資育成

- **上場を目指したカーブアウト制度**:
既存事業を子会社化。オーナー
シップを高めるため、ストックオプ
ションに従業員に付与
- **有望企業への投資・育成**:
優良なスタートアップ企業を発掘し、
投資とともに育成支援を実施

次世代の経営者・ 人財を育てる企業

OB社員から多数の起業家・ 成功企業を輩出。 その土壌となる人材と社風

 **「働きがいのある会社」**
2010年より6年連続ランクイン
(Great Place to Work®)

 **「風通しの良さ」**
インターネット業界
ランキング2位 (Vorkers)

1

企業情報

2

2016年12月期の状況

3

今後の方向性と、直近の動き

2016年12月期 振り返り

連結売上高 → 前年比 増収

積上げ型・安定型のソーシャルサービス事業は、横ばい。

受託開発事業については、アイ・オーシステムインテグレーション株式会社を買収。売上高を更に積み上げる。

シェアリングエコノミー企業向けのサービスの開発・提供を継続

ソーシャルサービス事業において、シェアリングサービス特化型のユーザーサポートサービス「フロントサービス」を提供。また、ブロックチェーン技術を活用した本人認証システム「TRUST DOCK」をリリース。

連結営業利益 → 前年比 減益

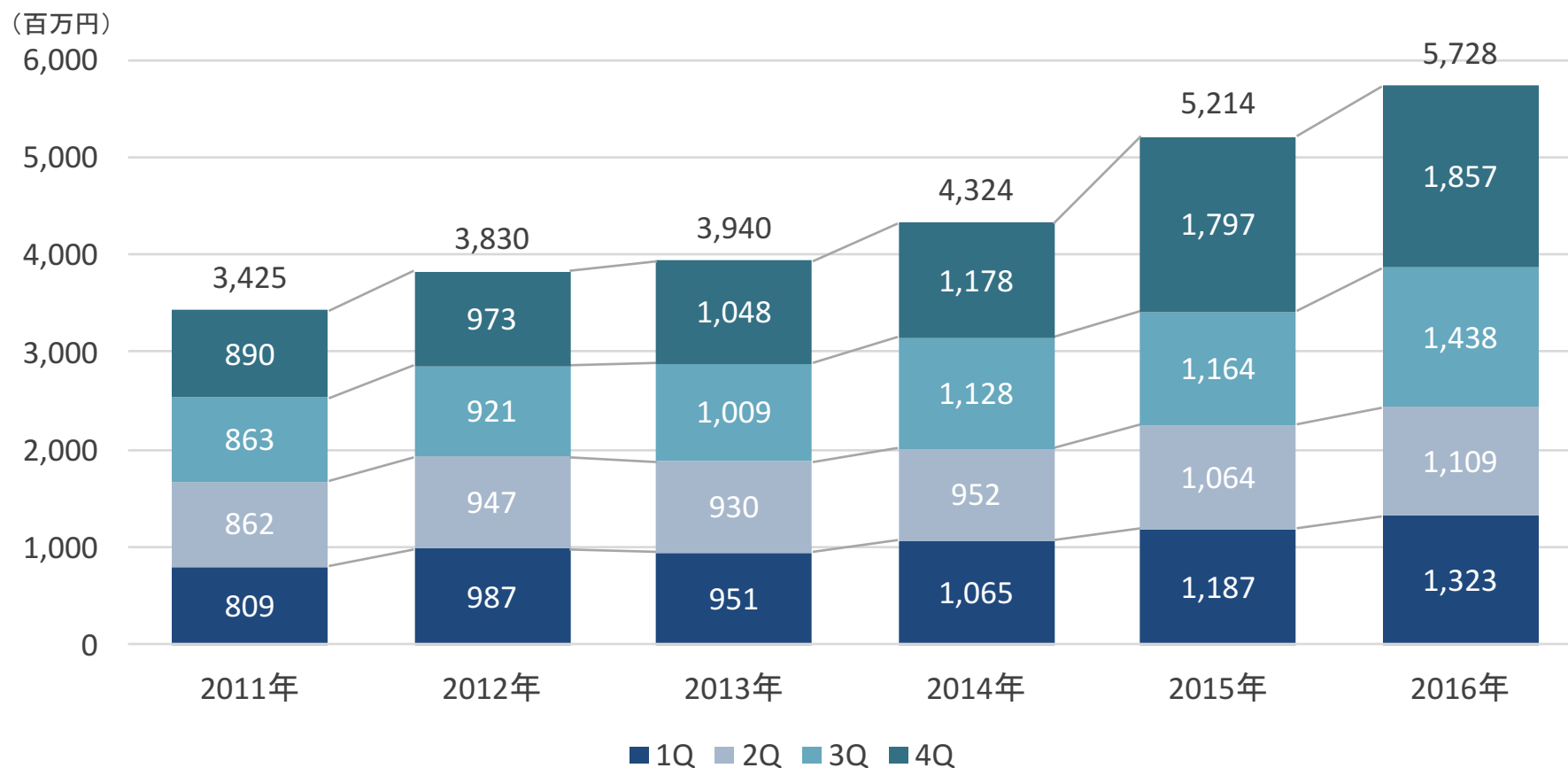
インキュベーション事業にて戦略的成長を目指した結果、人材関連費用の増加に加え、新規サービスの積極的な開発および広告宣伝等のマーケティング投資により減益。また、保有株式の価値を保守的に評価し将来の損失のリスクを排除するため減損を実施。

シェアリングエコノミー企業への投資を継続

シェアリングエコノミー市場についての情報収集、事業会社として培ってきた『目利き』力を活かし、高い成長が見込まれる投資先への投資を継続。

2016年12月期 連結売上高の推移

2016年12月期の連結売上高は5,728百万円と前年同期比109.8%



2016年12月期 連結PLサマリー

単位:百万円	2015年12月期	2016年12月期	増減額
売上高	5,214	5,728	+514
売上総利益	2,090	1,848	△241
販管費	1,698	2,433	+734
営業利益	392	△584	△976
経常利益	393	△595	△988
親会社株主に帰属する当期純利益	262	△700	△963

有価証券の評価損により、
原価が増加

グループ内
インキュベーション事業への
先行投資および、
今年度のオフィス移転により
販管費増加

2016年12月期 四半期別 連結PL推移

単位:百万円	第1四半期 (2016年1～3月)	第2四半期 (2016年4～6月)	第3四半期 (2016年7～9月)	第4四半期 (2016年10～12月)
売上高	1,323	1,109	1,438	1,857
売上総利益	422	379	488	558
販管費	494	520	704	713
営業利益	△71	△141	△216	△154
経常利益	△74	△145	△210	△165
四半期純利益	△66	△153	△260	△220

2016年12月期 セグメント情報

連結売上高

単位:百万円	2015年12月期	2016年12月期	増減額
ソーシャルサービス事業	2,571	2,738	+167
受託開発事業	2,116	2,545	+428
インキュベーション事業	554	545	△9
調整額	△27	△100	△72
	5,214	5,728	+514

アイ・オーシステムインテグレーション株式会社買収により増収

連結営業利益

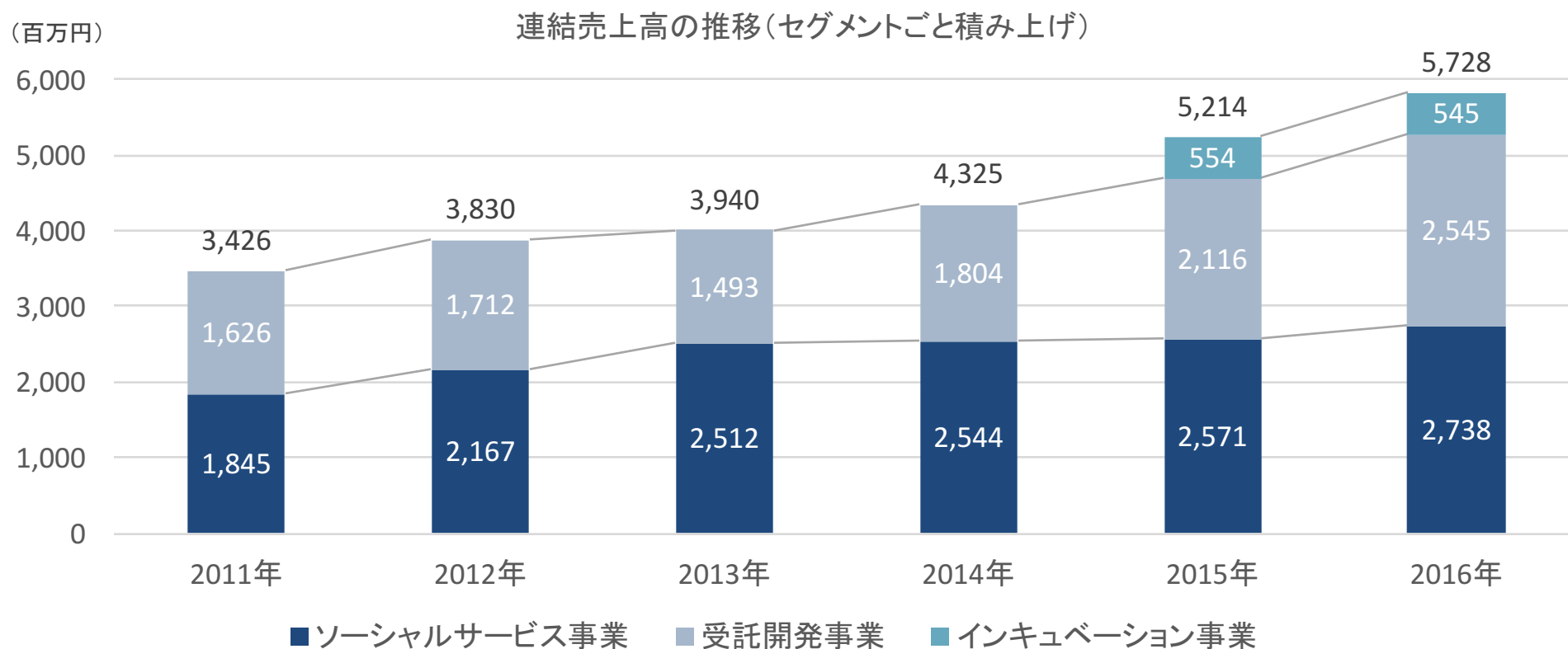
単位:百万円	2015年12月期	2016年12月期	増減額
ソーシャルサービス事業	203	129	△74
受託開発事業	86	95	+9
インキュベーション事業	315	△524	△839
調整額	△213	△284	△71
	392	△584	△976

市場シェア拡大を優先し、マーケティング費用増加

戦略的成長を目指した新規事業投資により費用先行。有価証券の評価損も影響

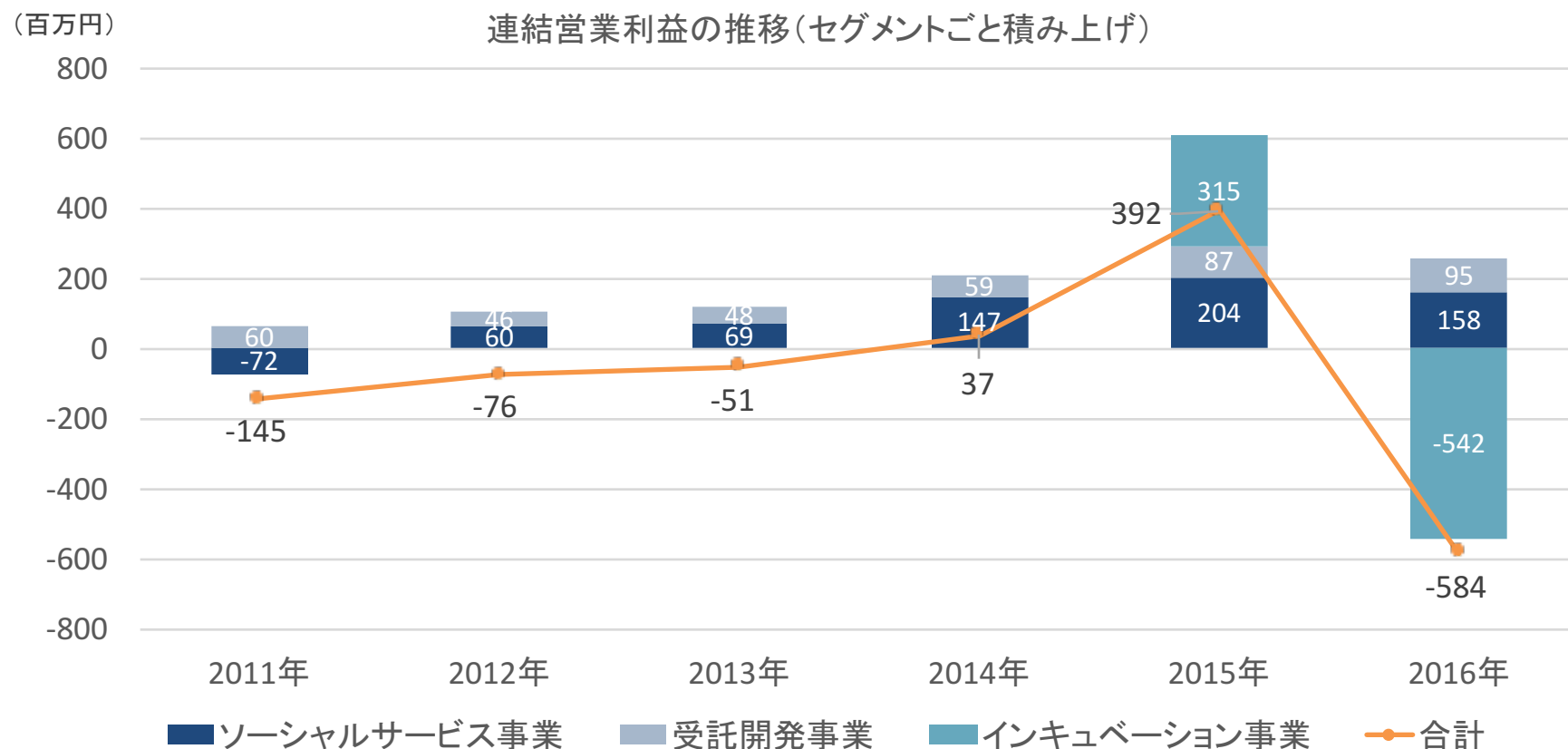
セグメント別 連結売上高の推移

ソーシャルサービス事業および受託開発事業の売上高伸長により、
連結売上高は5,728百万円



セグメント別 連結営業利益の推移

受託開発事業の営業利益は伸長するも、インキュベーション事業およびソーシャルサービス事業では前年比で営業利益を割り込む結果に



ソーシャルサービス事業 売上高および営業利益

2016年度はソーシャルサービス事業全体で売上高増 & 営業利益減

ソーシャルサービス事業に属する各サービス単位では、売上高増 & 営業利益増を達成したサービスと、売上高増 & 営業利益減となったサービスとに大きく区分される



インキュベーション事業(自社事業)

当社および当社子会社のインキュベーション事業は成長を継続



● 2016年の動き

- 2016/7/5
相乗り代上限金額制限機能を追加

- 2016/8/2
会員登録数25,000人突破

● 2017年の動き

- 2017/1/17
北海道天塩町と提携

- 2017/2/5
政府の規制改革推進会議が
ライドシェア解禁の検討を開始

● 2016年の動き

- 2016/9/20
「オフィスおかん」とサー
ビス連携開始

- 2016/9/26
農水省農業女子プロシエク
トと農業女子応援企画実施

- 2016/11/2
埼玉県横瀬町の官民連携プ
ラットフォーム「よこら
ぼ」のプロジェクトに採択
される

- 2016/11/24
千葉県千葉市、静岡県浜松
市、佐賀県多久市、長崎県
島原市と連携

● 2016年の動き

- 2016/10/31
10月末時点でホスト数は半
年で約400%成長、
ホストは63ヶ国までカバー

- 2016/12/17
東京メトロの経営資源活用コ
ンテストにて「東京メトロア
クセラレーター賞」を受賞

- 2016/12/31
12月末時点でホストは70ヶ
国、300名以上に

2016年12月期 連結B/S

単位: 百万円		2015/12末	2016/12末
流動資産		5,433	3,897
現預金		2,226	2,205
受取手形・売掛金		541	622
仕掛品		107	100
営業投資有価証券		2,421	878
有価証券		70	—
その他		70	93
貸倒引当金		△5	△3
固定資産		230	396
有形固定資産		84	102
無形固定資産		16	69
投資その他の資産		129	223
総資産		5,663	4,293
流動負債		1,797	1,603
支払手形・買掛金		120	145
短期・1年内返済長期借入金		385	563
1年内償還予定の社債		8	40
その他		1,283	853
固定負債		534	1,067
長期借入金		498	864
その他		36	203
純資産		3,330	1,623
株主資本		1,907	1,216
その他の包括利益累計額		1,398	393
新株予約権 他		24	13
負債純資産合計		5,663	4,293

営業投資有価証券: 1,543百万円減少
売却および評価損による

有形固定資産および無形固定資産: 710百万円増加
永田町へのオフィス移転のため

短期・1年内返済長期借入金: 178百万円増加
事業資金の調達による

その他の包括利益累計額: 1,005百万円減少
株式の売却および株価下落による

2017年12月期 業績見通し

ソーシャルサービス事業セグメント

ソーシャルサービス事業セグメントにおいては、企業におけるソーシャルメディアサービスの活用増加が見込んでおります。そのため、法人向けソーシャルメディアの運用は安定的なストック売上の計上を予想しており、前連結会計年度と同水準の売上を見込んでおります。

受託開発事業セグメント

受託開発事業セグメントにおいては、引き続きシステム改修の受注が継続する見込みであり、売上高は10%程度増加する見込みです。利益水準については、受託開発事業においては、前連結会計年度と同程度の水準を見込んでおります。

インキュベーション事業セグメントおよび利益水準について

インキュベーション事業においては、新規サービスへの投資を継続する一方、インキュベーション事業損益がマーケット環境や市況動向次第で大きく変動することから、連結グループとしての業績予測が極めて困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

1

企業情報

2

2016年12月期の状況

3

今後の方向性と、直近の動き

資本主義が直面する課題の解決に向けて

資本主義社会は、すぐにはなくならないでしょう。
しかし十分コモディティ化し、自ら解決できる問題は
ほぼ解決し尽くしており、この枠組みの中では、
今後大きなイノベーションは起きにくいと見ています。

一方、ソーシャルメディアやシェアリングエコノミーは、
ネットを利用することで世界規模での
新たなイノベーションを仕掛けることが可能です。
消費に縛られないので、資本主義社会で発生しているような
問題も生まれにくいでしょうし、資本主義社会が残した宿題を
解決する力も備えていると考えます。

社会を真剣によくしたいと思うのであれば、
爆発的な影響力を発揮できるネットの効率性を
活用しない手はありません。

私たちが取り組むのは、まだ何も完成してない、自分たちの
手で作っていく次の社会です。

私たちは、ソーシャルメディアとシェアリングエコノミーという
フィールドの可能性をさらに追及してまいります。



ガイアックスグループ中期ビジョン

グループ中期ビジョン

シェアリングエコノミー の成長力を Gaiaxの成長力に!!

ソーシャルサービス事業と
インキュベーション事業の
両面から、シェアリングエコノミーを
囲い込む

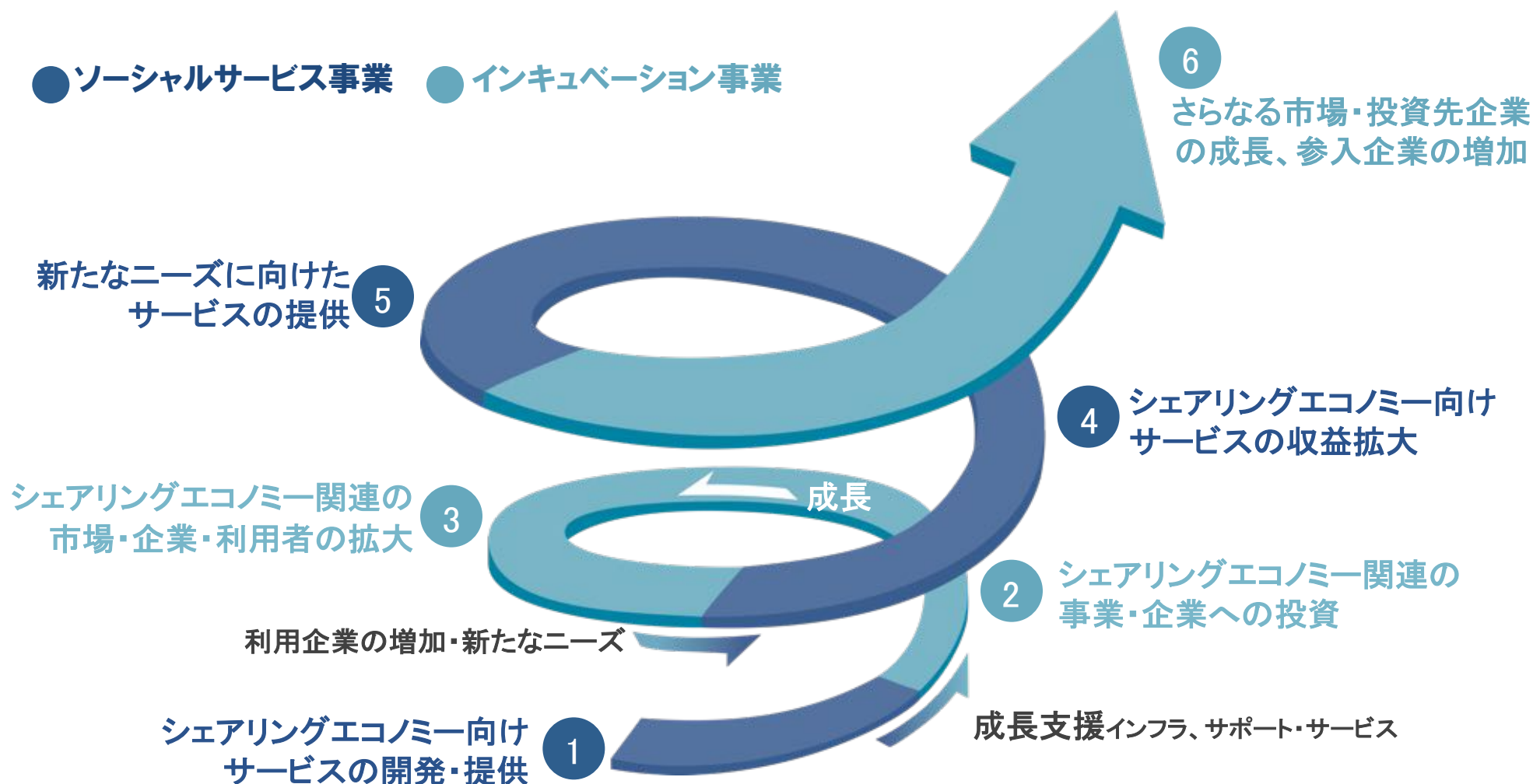


ガイアックスグループ中期ビジョン 事業の両輪による好循環

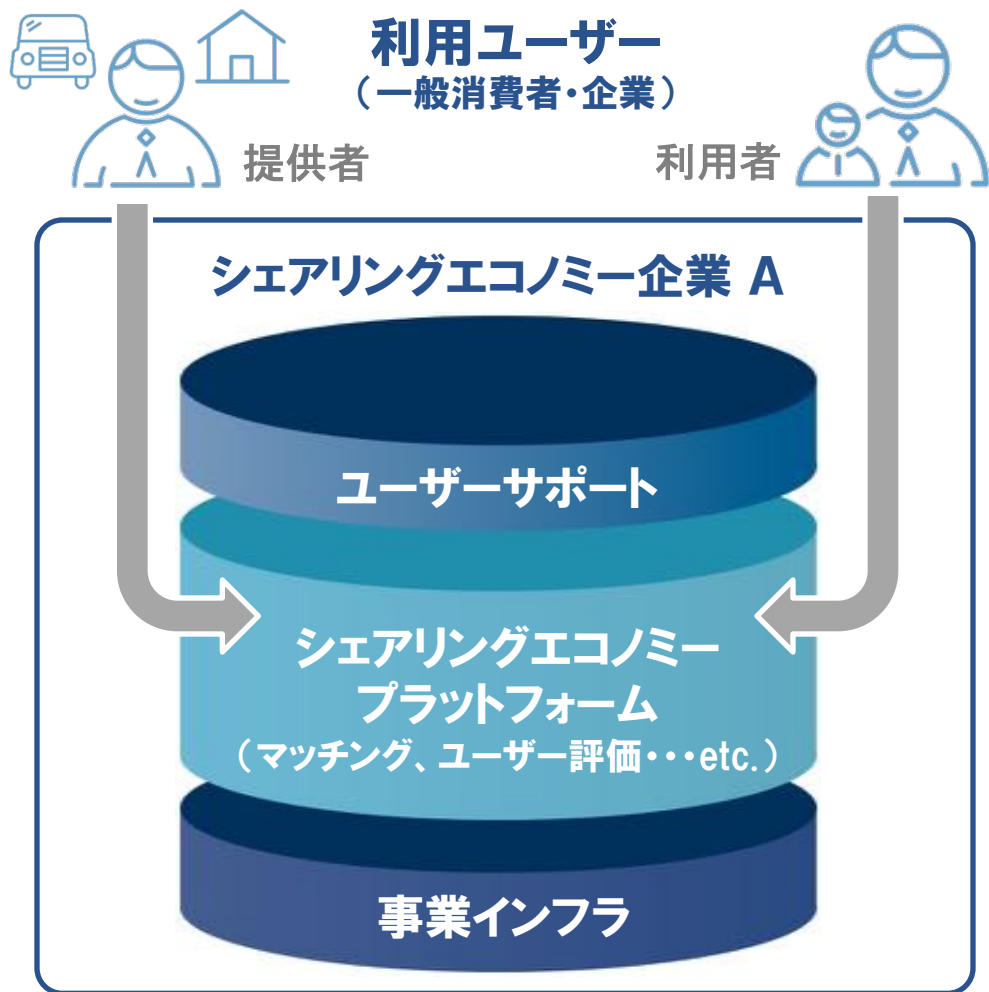
事業会社であるGaiaxグループだからこそ、インキュベーション事業の投資だけではなくソーシャルサービス事業との連動による市場創造、収益拡大を図ることができます

● ソーシャルサービス事業

● インキュベーション事業

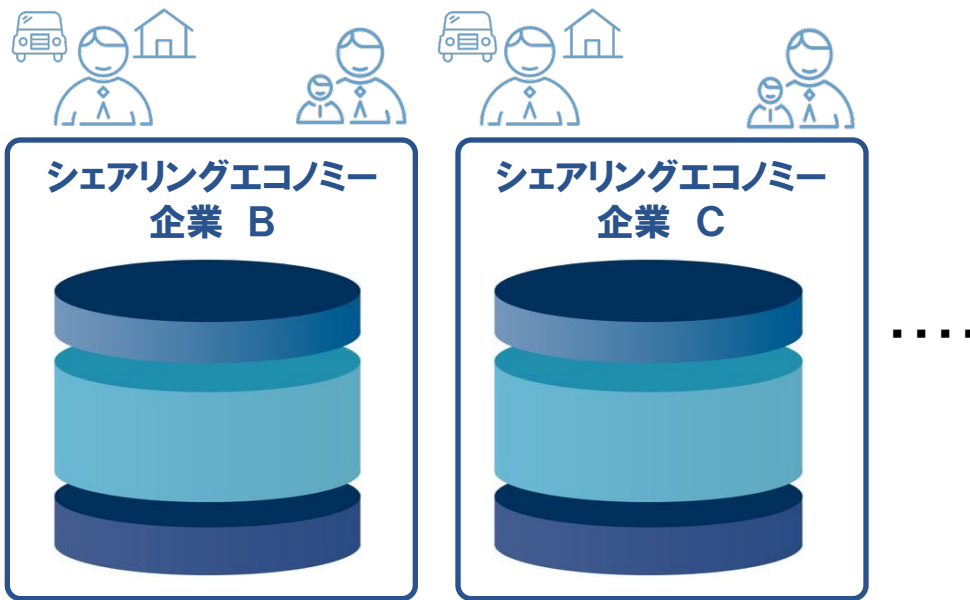


シェアリングエコノミー 全体の階層



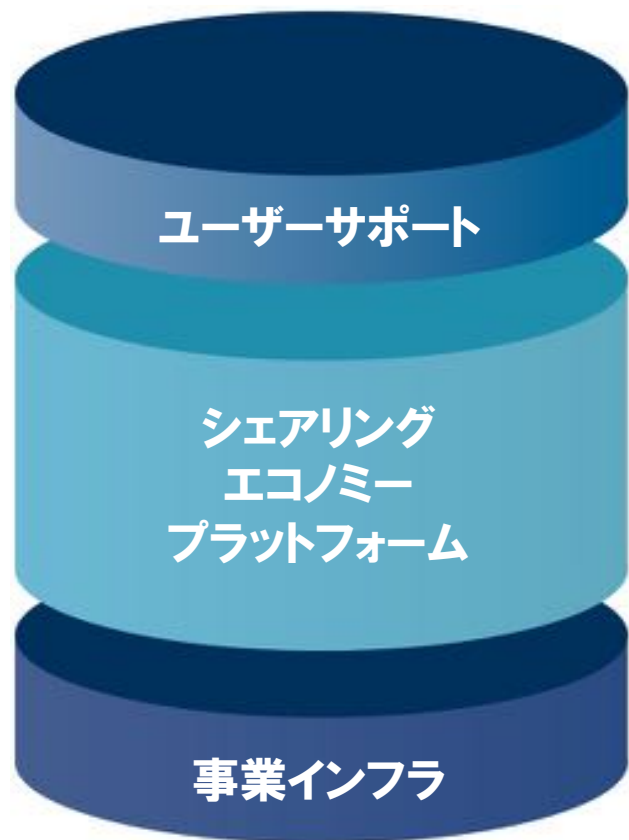
シェアリングエコノミーに関するビジネスは、プラットフォーム提供だけではなく、多岐にわたります

また、市場の拡大・健全な発展に向けて、協会での活動も非常に重要となります



業界団体：一般社団法人シェアリングエコノミー協会

当社は全ての階層でのフロントランナー、メインプレーヤー



ソーシャルサービス事業・・・「フロントサポート」

→ 業界に先駆け、いち早く特化型のサービスを開発・提供

インキュベーション事業(グループ内)・・・シード・アクセラレータ

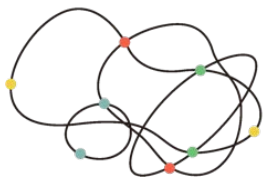
→ 既に3分野で事業化し、育成・拡大に向けて邁進。

インキュベーション事業(グループ外)・・・Yコンビネーター型の投資

→ 専用ファンドも設立し、既に多数の企業への投資を実施

ソーシャルサービス事業・・・「TRUST DOCK」

→ ブロックチェーン技術を活用した、複数サービス間共通のID基盤
→ 本人確認サービスの提供を年内に開始



**SHARING
ECONOMY**
ASSOCIATION JAPAN

シェアリングエコノミー協会

→ 代表理事として、市場の普及・拡大、環境整備に向け活動

ソーシャルサービス事業としての取り組み「フロントサポート」



- ◎業界に先駆け、いち早く特化型のサービスを開発・提供
→シェアリングエコノミー検討会議で挙げた安全性・信頼性に、いち早く対応
- ◎安心安全面のサポートを通じ、シェアリングサービス業界の発展に貢献
→シェアリングエコノミーを巡る行政の動向に注視し、メニューの充実化を図る

シェアリングサービス特化のカスタマーサポートパッケージ「フロントサポート」(2016/4～)

子会社アディッシュを通じ、ライドシェア・民泊・フリマ等のシェアリングサービスや、CtoCマッチングサービス向けに提供開始。

「フロントサポート」 ～ 24時間多言語対応で、ユーザー集客からサービスの安心までをサポート ～

※価格は契約内容に応じて月額10～100万円程度

	サイト外で提供		クライアントのサイト上で提供			
提供サービス	リプライマーケティング	アクティブサポート	Web接客	カスタマーサポート	本人確認審査	投稿目視モニタリング
目的・効果	サイト外でユーザーを集客	サイト外で利用ユーザーをサポート	サイトに流入したユーザーに利用を促進	利用ユーザーの顧客満足度向上	本人審査確認時間を短縮	不正利用やトラブル防止

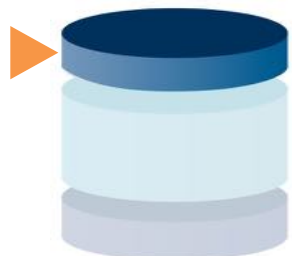
現在の導入実績

ライドシェア、民泊、フリマ、マッチングサイトなど

ソーシャルサービス事業としての取り組み



ユーザーサポート



◎チャットボット×有人チャットサポート

1,000アプリ以上のカスタマーサポート運用実績を活かした、チャットボット×有人の融合型チャットサポート

◎2017年上半期、機械学習を活用した自動応答機能にも対応の予定



2016年の動き

2016/10/3 hitoboを提供開始

2016/10/13 hitoboがLINE Messaging APIに対応



ソーシャルサービス事業としての取り組み TRUST DOCK



◎ブロックチェーン×シェアリングエコノミー

ブロックチェーン技術を活用した、複数のシェアリングサービスを横断して利用可能なIDを発行・管理する本人確認サービス

◎2016年12月に本人確認サービス提供開始

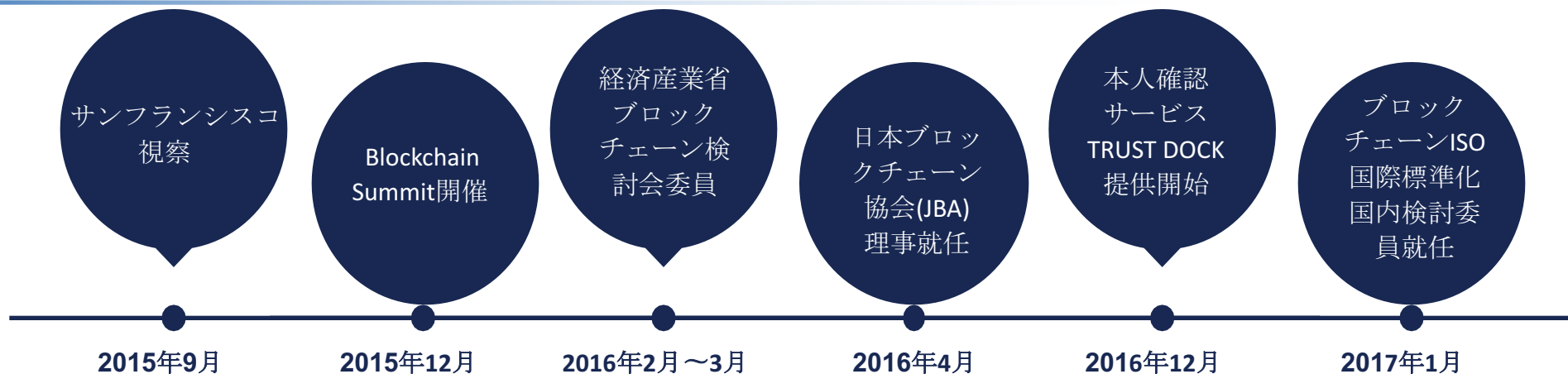
シェア事業者を中心に問い合わせ多数

2016年の動き

- 2016/10/4 シェア事業者向け「本人確認プラットフォーム」と「お問い合わせ窓口」を提供
- 2016/10/20 ブロックチェーンビジネス創出ワークショップ「Blockchain Bizアイデアソン」提供開始
- 2016/11/8 サイバートラスト社と、ブロックチェーンと電子認証技術を用いた本人確認・認証事業での協業に合意
- 2016/12/14 シェア事業者向け、本人確認プラットフォーム「TRUST DOCK」 本格提供をスタート



ガイアックスのブロックチェーンに関する取り組み



2016年の動き

本人確認サービス TRUST DOCKの提供開始・ブロックチェーンの応用



シェアリングサービスへのブロックチェーンの応用の第一弾として、2016年12月、**本人確認サービス TRUST DOCK** をローンチ。ブロックチェーンの個人認証分野での応用を研究。

日本ブロックチェーン協会(JBA)理事就任・官民連携への取り組み



2016年4月に発足した日本ブロックチェーン協会に、**金融以外の分野**のプロフェッショナルとして参画し、理事に就任。**官民連携**してブロックチェーンの普及を促進する動きを実施。

講師・講演活動でブロックチェーン普及に注力



2016年7月に、**スマートコントラクトカンファレンス**にてブロックチェーンの非金融分野への応用について講演。また、ビジネス支援や技術レクチャーなど、ブロックチェーンの普及に向けた活動に注力。

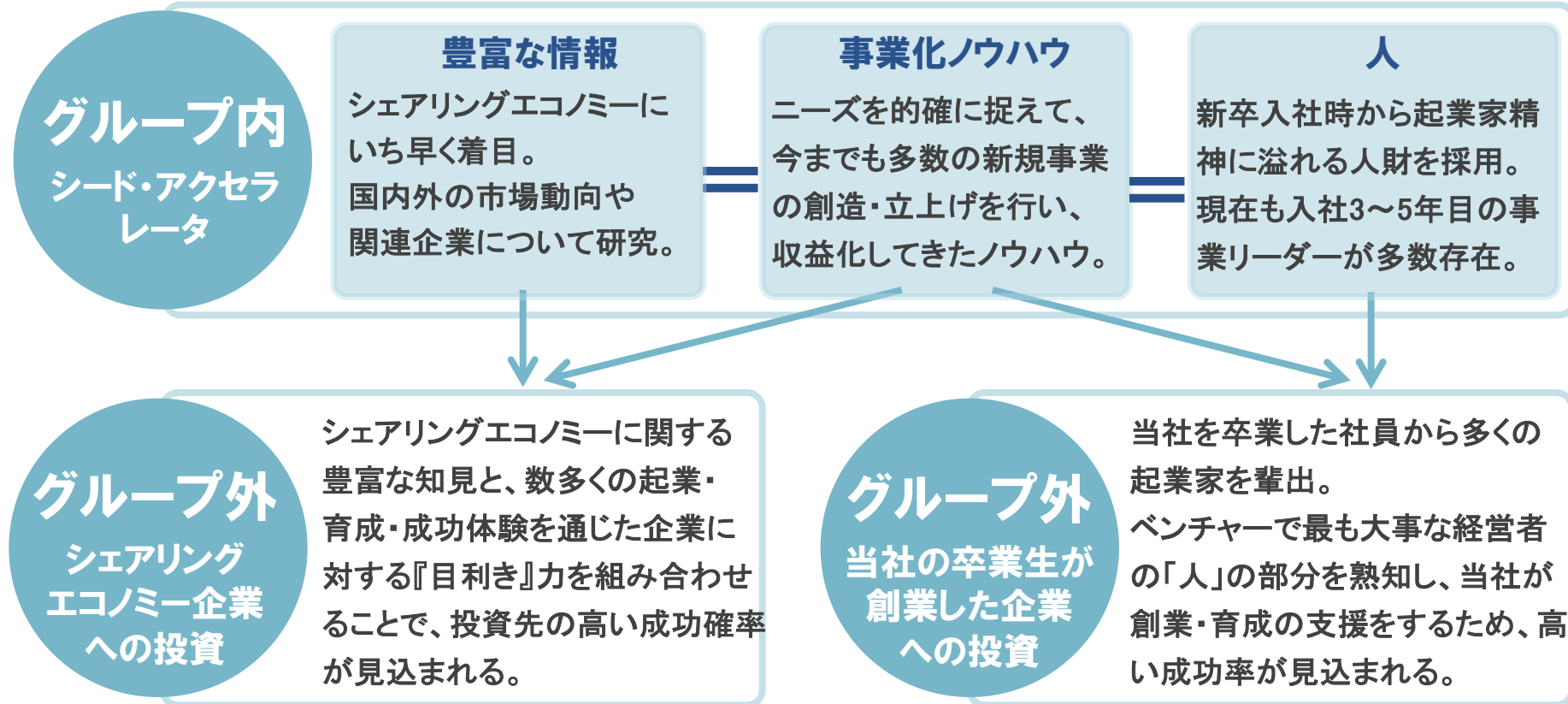
インキュベーション事業としての取り組み 3つのスタイル



インキュベーション事業は、3つのスタイル(形態)で取り組み

- ・グループ内・・・シード・アクセラレータ(新規事業の創造)
- ・グループ外・・・Yコンビネータ型の投資＋育成・支援

- ①シェアリングエコノミー企業への投資
- ②当社を卒業した社員が起業した会社への投資



インキュベーション事業としての取り組み 現在の投資先

グループ内 シード・アクセラ レータ

シェア × 車



株式会社notteco
相乗りマッチング型の国内
最大ライドシェアサービス

シェア × 食



株式会社Tadaku
外国人が教える
家庭料理教室

シェア × 体験



地域体験マッチング事業
地元の人と交流ができる
地域体験予約サイト

グループ外 シェアリング エコノミー企業 への投資



maipple

careL

VogHuggy

TRAVEL PLANET

COGICOGI
SMARTI

Huber.

Spacee



nutte

グループ外 当社の卒業生が 創業・経営企業 への投資



NICOLY:)



※掲載投資先は全投資先ではなく一部です。投資先の主要な動きについては、巻末の「インキュベーション事業 投資先の紹介」をご覧ください。

Nagatacho GRIDについて



Nagatacho GRID : 日本一シェアを体験できるビル



シェアリングエコノミー協会やシェア事業者が入居 シェアオフィス事業をMirai Institute社 (MIDORI.SO) と展開

シェア事業者はじめ、さまざまな人材が集まるインキュベーションスペースになるとともに、大多数のフロアをシェアオフィスやスペースシェアを通じた収益源に

立地は永田町



立法・行政がシェアリングエコノミーに触れる機会を創出

利用可能シェアサービス



駐車場シェア



店舗シェア



会議室のシェア



空きスペースシェア



自転車のシェア



シェアオフィス

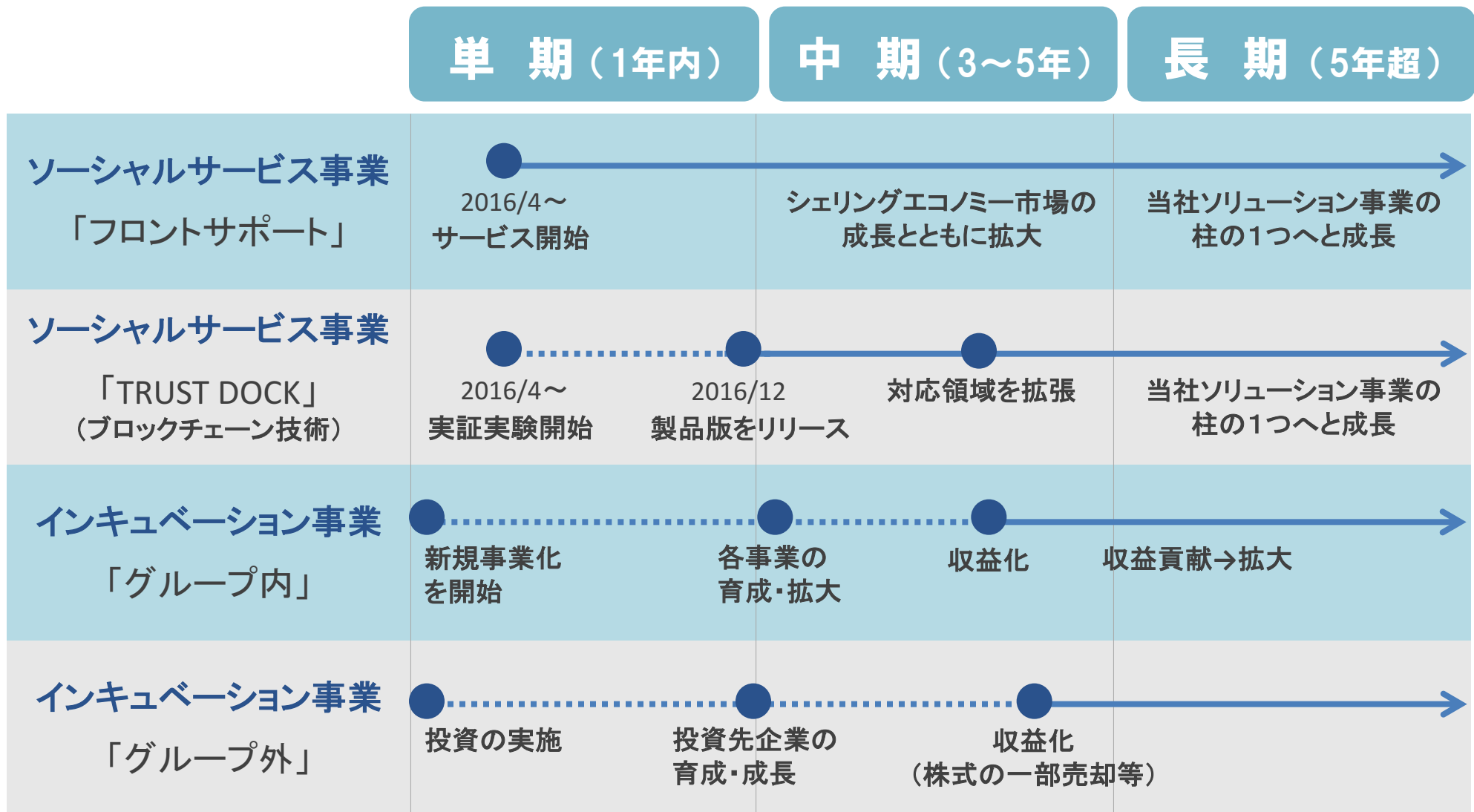


外国人料理教室

事業別収益モデルなどの整理

	ソーシャルサービス事業	インキュベーション事業	
		グループ内	グループ外
収益化の方法	シェアリングエコノミー企業からのサービス利用収入	サービス利用者からの手数料収入	主としてキャピタルゲイン
収益タイプ	積上げ型・安定型	事業会社型	スポット型
リスク度合い	リスク: 低 (市場拡大につれ収益は自然増)	リスク: 低～中 (当社がコントロール)	リスク: 中 (VCと比較しリスクは低)
収益貢献までの期間	短期～中期 (1～5年)	中長期 (3年～)	長期 (5年～)

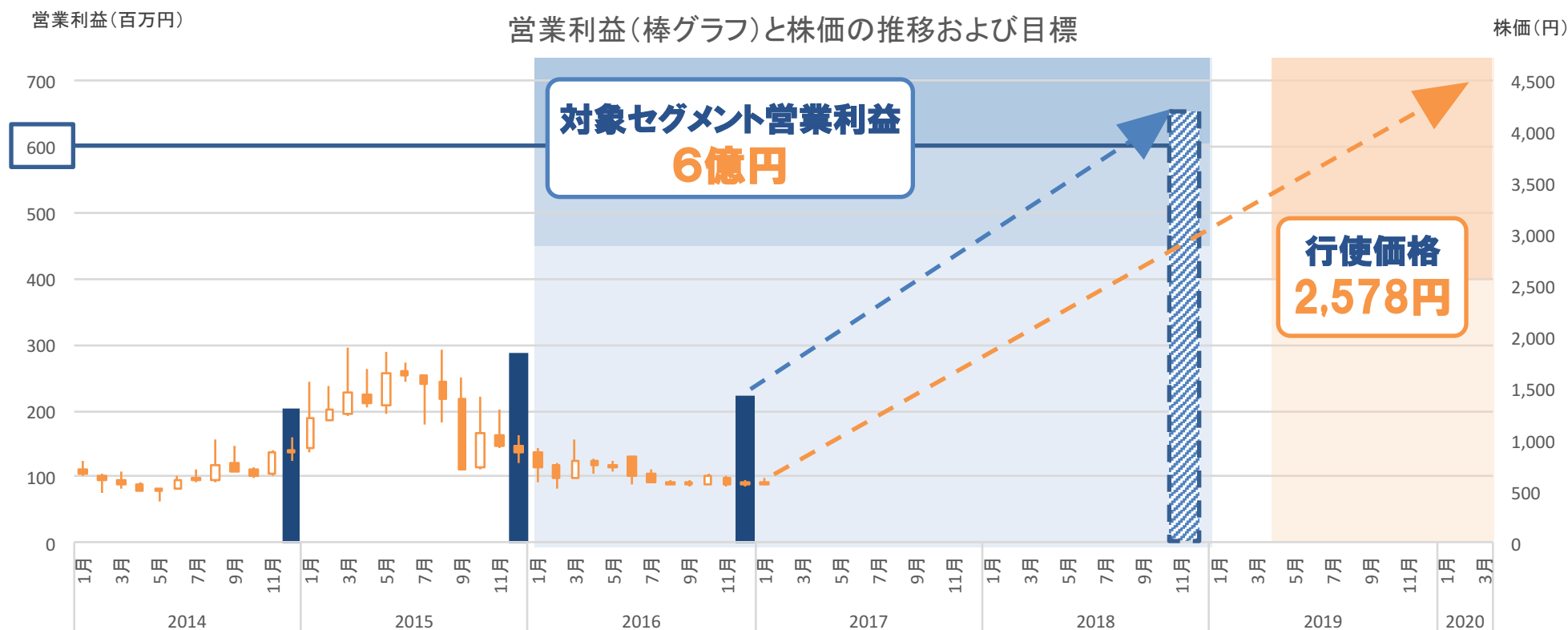
各事業での収益化 タイムライン



有償ストックオプション 従業員のコミットを促進

2016年4月14日、有償ストックオプションの権利を割り当て、全社レベルにて目標を共有

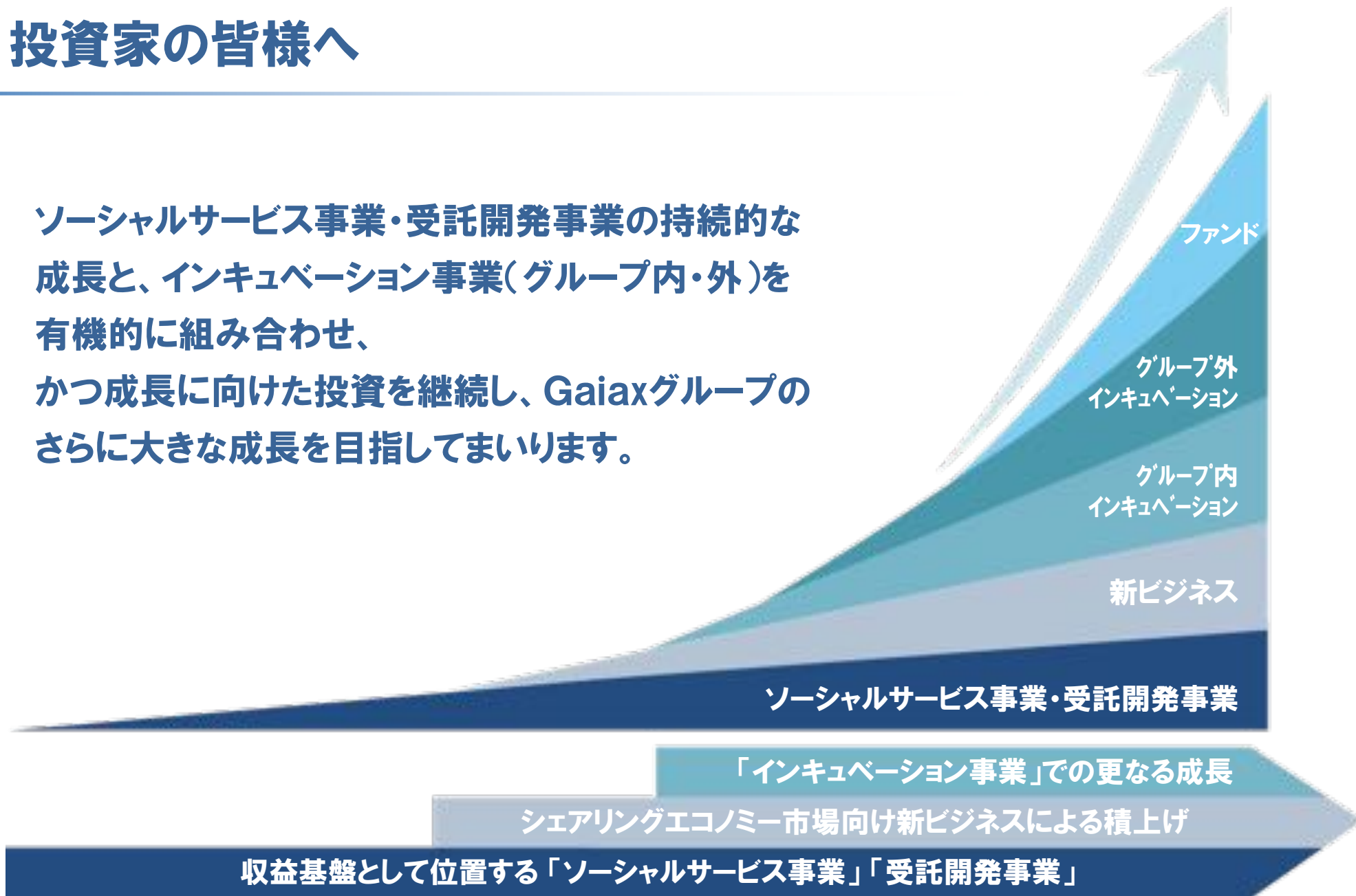
- ・業績条件＝対象セグメント営業利益(ソーシャルサービス＋受託開発)：**600百万円**※ (2016年12月期～2018年12月期のいずれか)
- ・行使価格：**2,578円**(2019年4月14日～2020年4月13日)



※営業利益額により行使可能割合が変動。450百万円を超過した場合: 行使可能割合 1/3。550百万円を超過した場合: 行使可能割合 2/3。
600百万円を超過した場合: 行使可能割合 すべて。

投資家の皆様へ

ソーシャルサービス事業・受託開発事業の持続的な成長と、インキュベーション事業(グループ内・外)を有機的に組み合わせ、かつ成長に向けた投資を継続し、Gaiaxグループのさらに大きな成長を目指してまいります。



注意事項

- 本日の説明における見通し、戦略等は、弊社を取り巻くさまざまな要素により大きく異なることも考えられます。将来の戦略、業績等につきましては、ご説明申し上げます内容と異なる可能性があります。
- 本資料の記載内容のうち、歴史的事実でないもの、当社の現在の計画、戦略、見込み等、既に確定した事実でないものはガイアックスの将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は、記載の見通しと異なる可能性があることをご了承ください。
- また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に弊社が将来の見直しを見直すとは限りません。
- 本資料の掲載内容の全てもしくは一部につき、当社の事前の承諾なく、私的利用その他法律によって認められている範囲を超えて、複製、改変、転用、掲示、送信、領布、ライセンス、販売、出版等することを禁止いたします。
- 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

APPENDIX

APPENDIX

1

シェアリングエコノミー

2

当社の優位性と、市場への取り組み

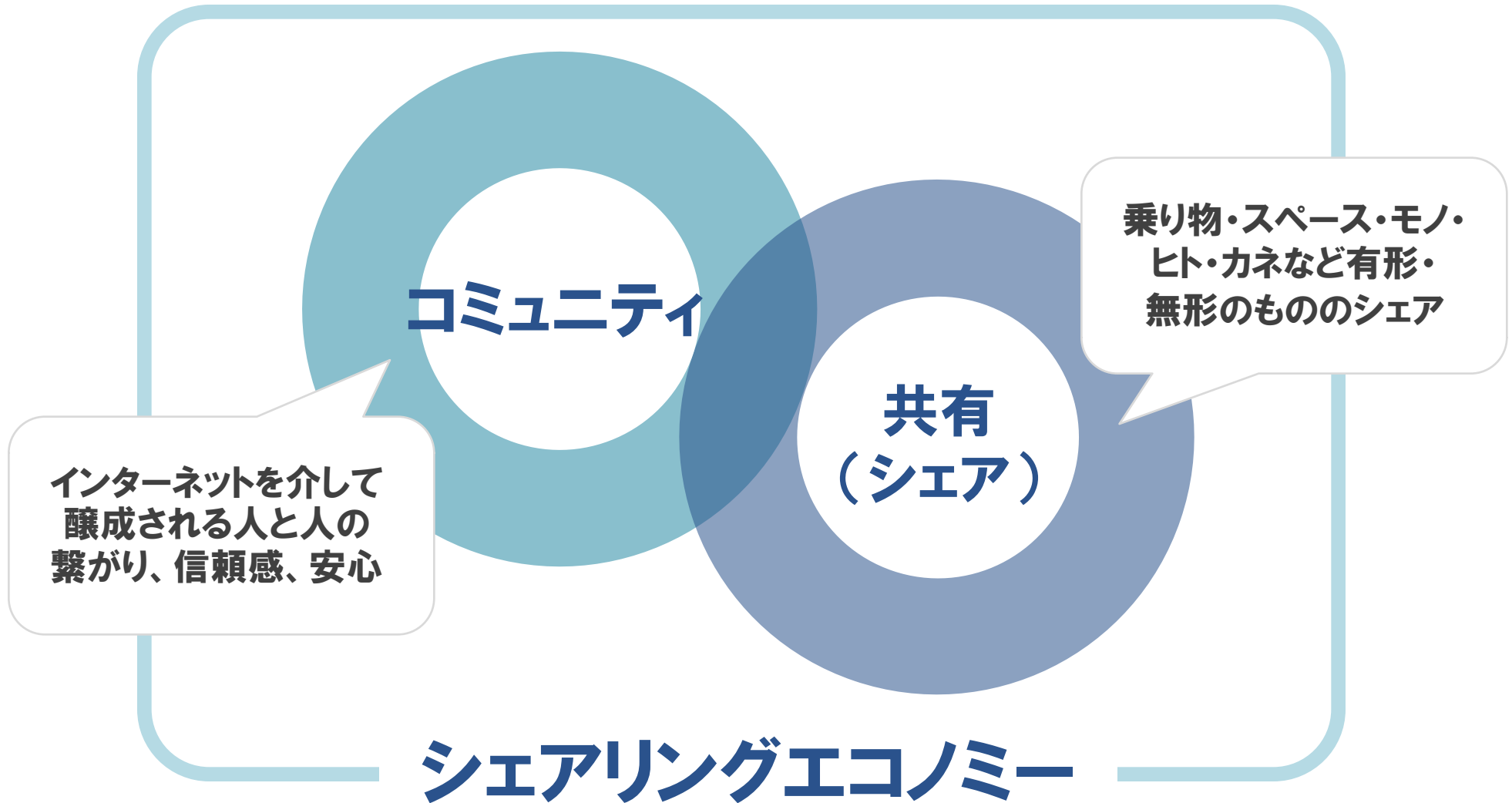
3

シェアリングエコノミー協会の活動

4

インキュベーション事業 投資先の紹介

シェアリングエコノミーとは？



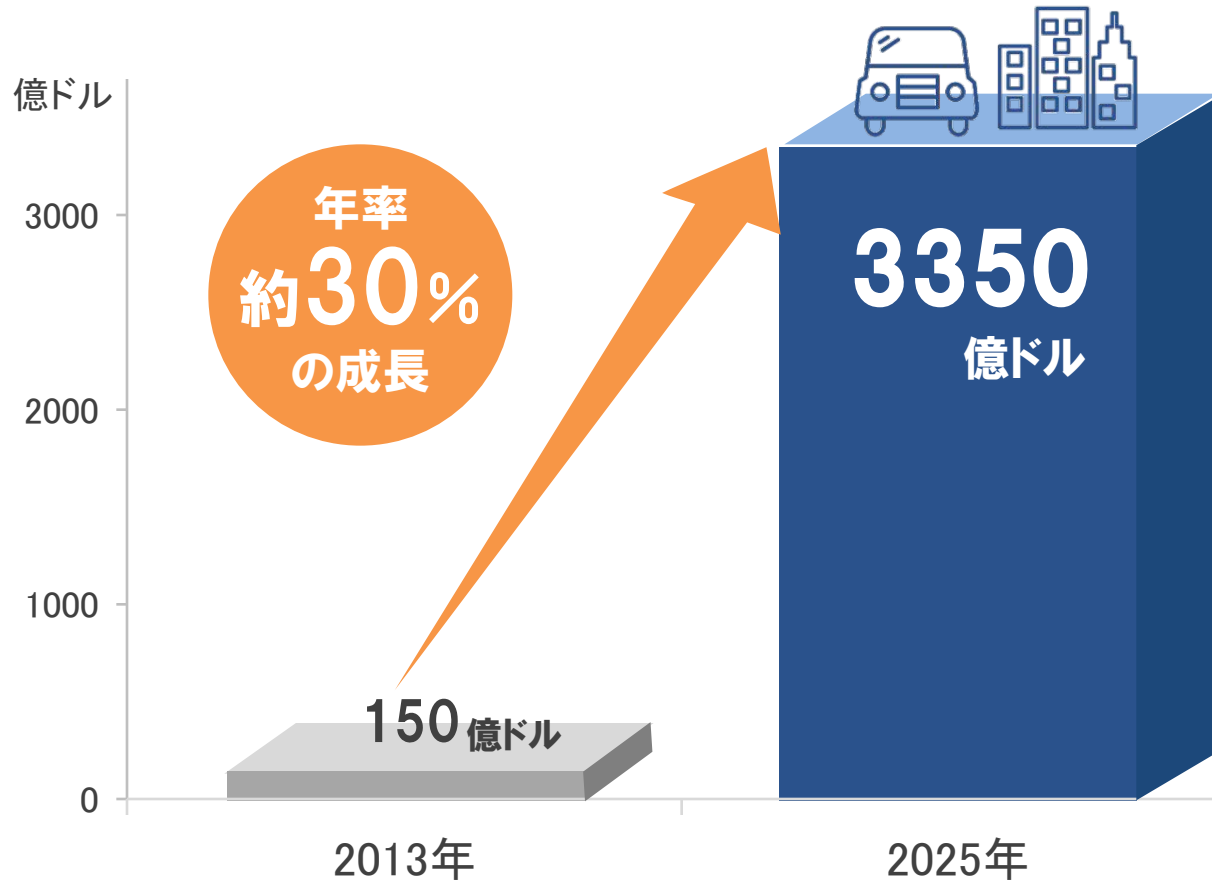
インキュベーション事業における今後の重要な投資分野

拡大するシェアリングエコノミー領域



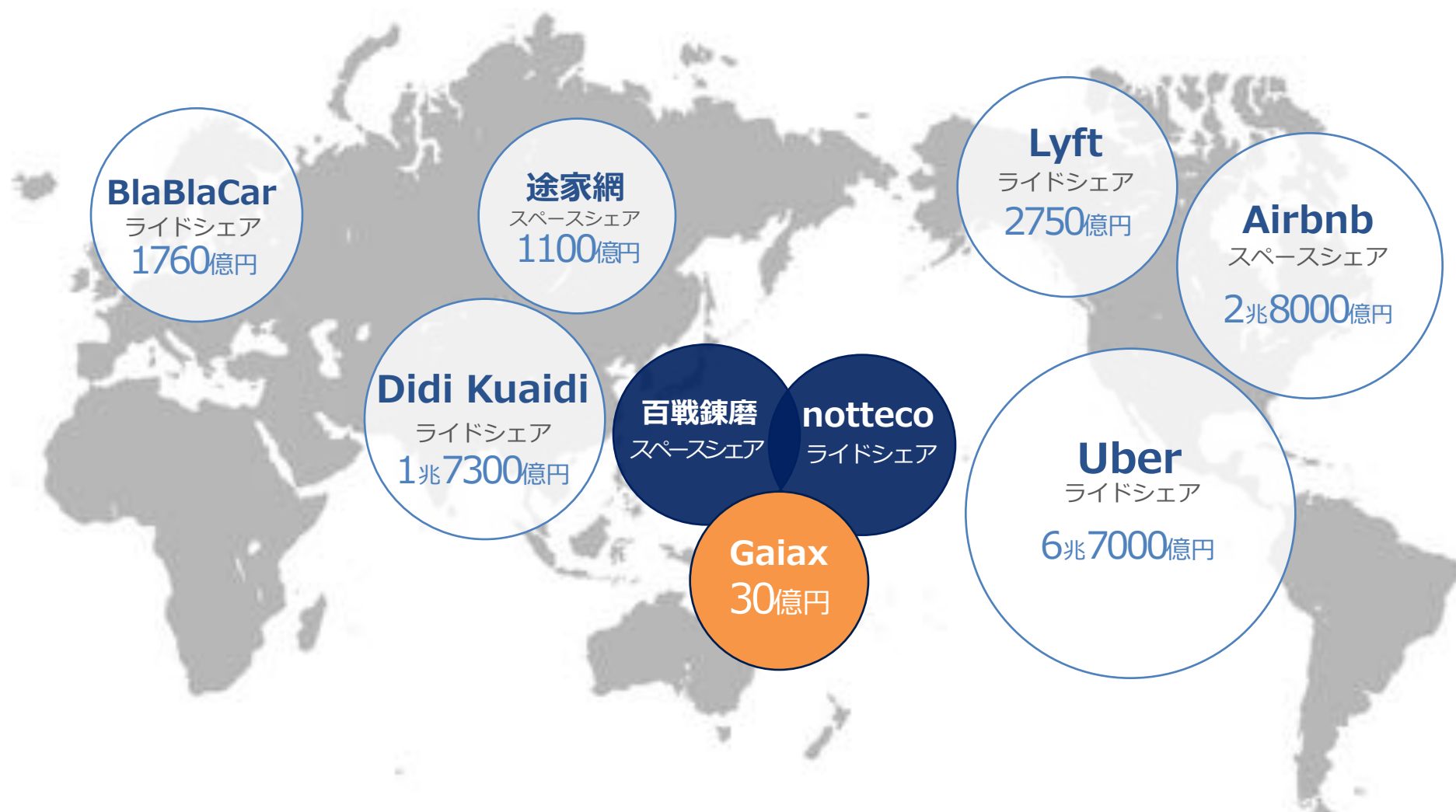
拡大するシェアリングエコノミー市場

シェアリングエコノミーの世界市場規模の予想



出所:総務省「情報通信白書 平成27年版」

世界で活躍するシェアリングエコノミー企業



※金額は各社の企業評価額で、直近の資金調達の際の評価額(1USドル=110円で換算)

APPENDIX

1

シェアリングエコノミー

2

当社の優位性と、市場への取り組み

3

シェアリングエコノミー協会の活動

4

インキュベーション事業 投資先の紹介

シェアリングエコノミー市場で、多様な収益拡大・機会を創出



インキュベーション 事業での キャピタルゲイン

出資し、成長に向けた各種支援を行った会社が事業を拡大することにより、出資した株式の売却益をインキュベーション事業で計上



ソーシャルサービス 事業の収益拡大

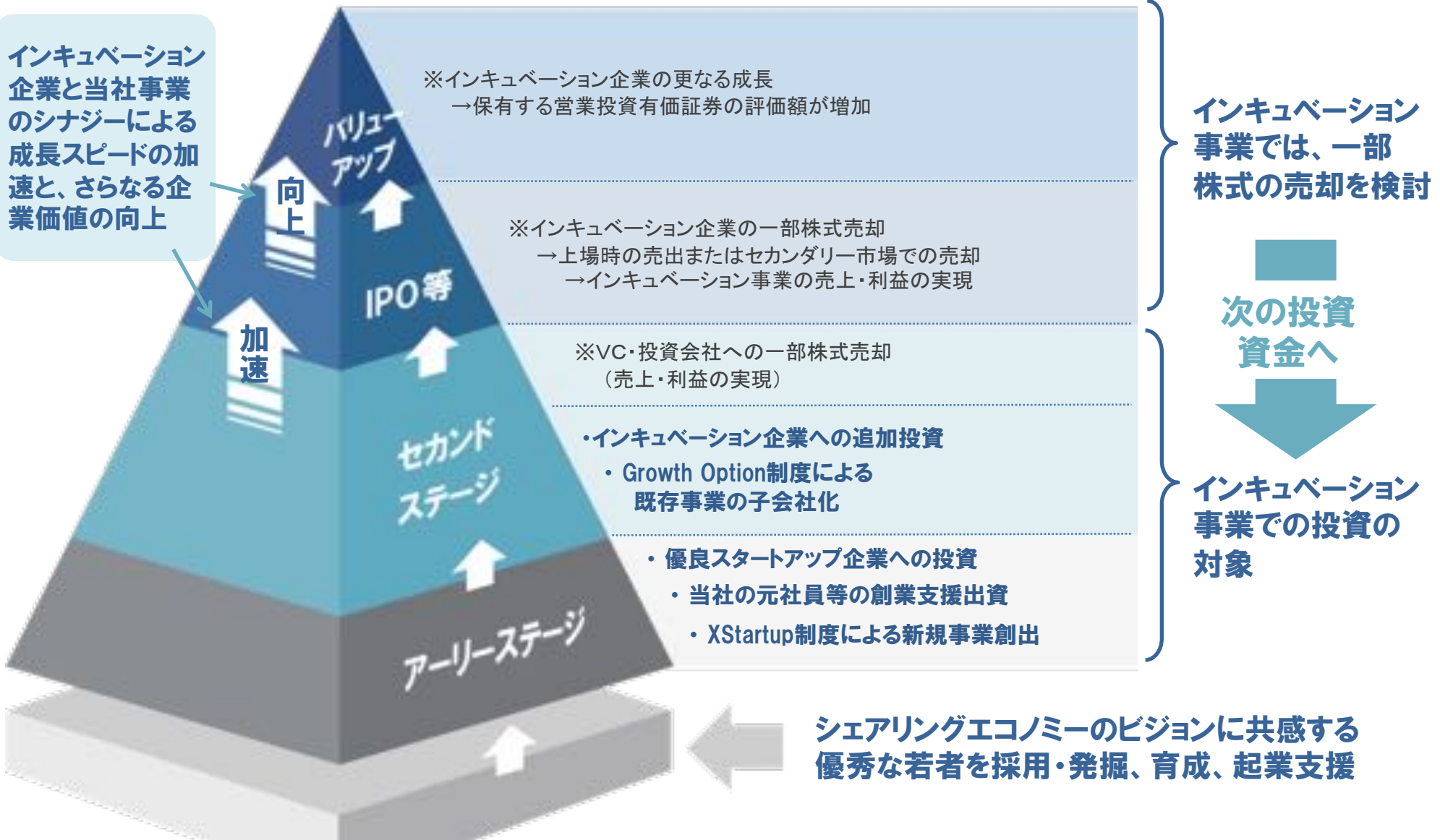
出資先のシェアリングエコノミー企業が成長するにしたいが、当社グループのサービスを利用する機会が拡大、それにより当社ソーシャルサービス事業の収益が拡大



新規事業との シナジー創出による 収益拡大

投資先であるシェアリングエコノミー企業とのシナジーを創出し、社会の求める様々なニーズに応えるサービスを開発し、新規事業の収益拡大

インキュベーション事業:ステージ別の取り組み



Gaiaxグループの有する各種流動性を活用し、投資を実施

当社グループの有する各種の流動性

保有
現預金

ファイナンス
による
調達資金

営業投資有価
証券の評価
(時価)

シェアリング
エコノミー
ファンド

流動性を原資として、さらなる事業拡大・成長に向けた投資を実施

新規事業・サービス開発

シェアリングエコノミー領域

訪日インバウンド領域

インキュベーション事業：現在のパイプライン

アーリーステージ



IPO等



バリューアップ

グループ内インキュベーション

食のシェア



ライドシェア



地域体験のシェア



グループ外インキュベーション

外国人との
体験シェア



ファッションの
シェア



民泊



才能のシェア



当社卒業生が起業
海外向けECを展開。クー
ルジャパン機構も出資



当社卒業生が起業
スマートロックを提供。ジャ
フコ、YJキャピタルも出資



Photosynth

ペット版民泊



シェアサイクル



会議室シェア



スペース
シェア



当社卒業生が起業
国内最大級の人間ドック
サイトの運営



ルートのシェア



寺社の
シェア



美容のシェア



縫製のシェア



LGBT事業



メディア事業



海外旅行の
シェア



購入手段の
シェア



子連れ情報の
シェア



成長

2015年9月
東証マザーズ
上場



成長

2015年10月
東証マザーズ
上場

※掲載投資先は全投資先ではなく一部です。投資先の主要な動きについては、巻末の「インキュベーション事業 投資先の紹介」をご覧ください。

ガイアックスグループの優位性①



コミュニティの育成・ 醸成支援が可能

シェアリングエコノミー・ビジネスには、
ネットコミュニティの存在が不可欠
当社の主力事業は、その育成・醸成の
サポートが可能



起業・起業家の育成支援が 可能

社員から多くの起業家を輩出している
当社は、創業に関する豊富な経験とノ
ウハウを保有



シェアリングエコノミー企業 とのシナジーが可能

当社ソーシャルサービス事業とのシナ
ジーにより、シェアリングエコノミー企業
の成長促進

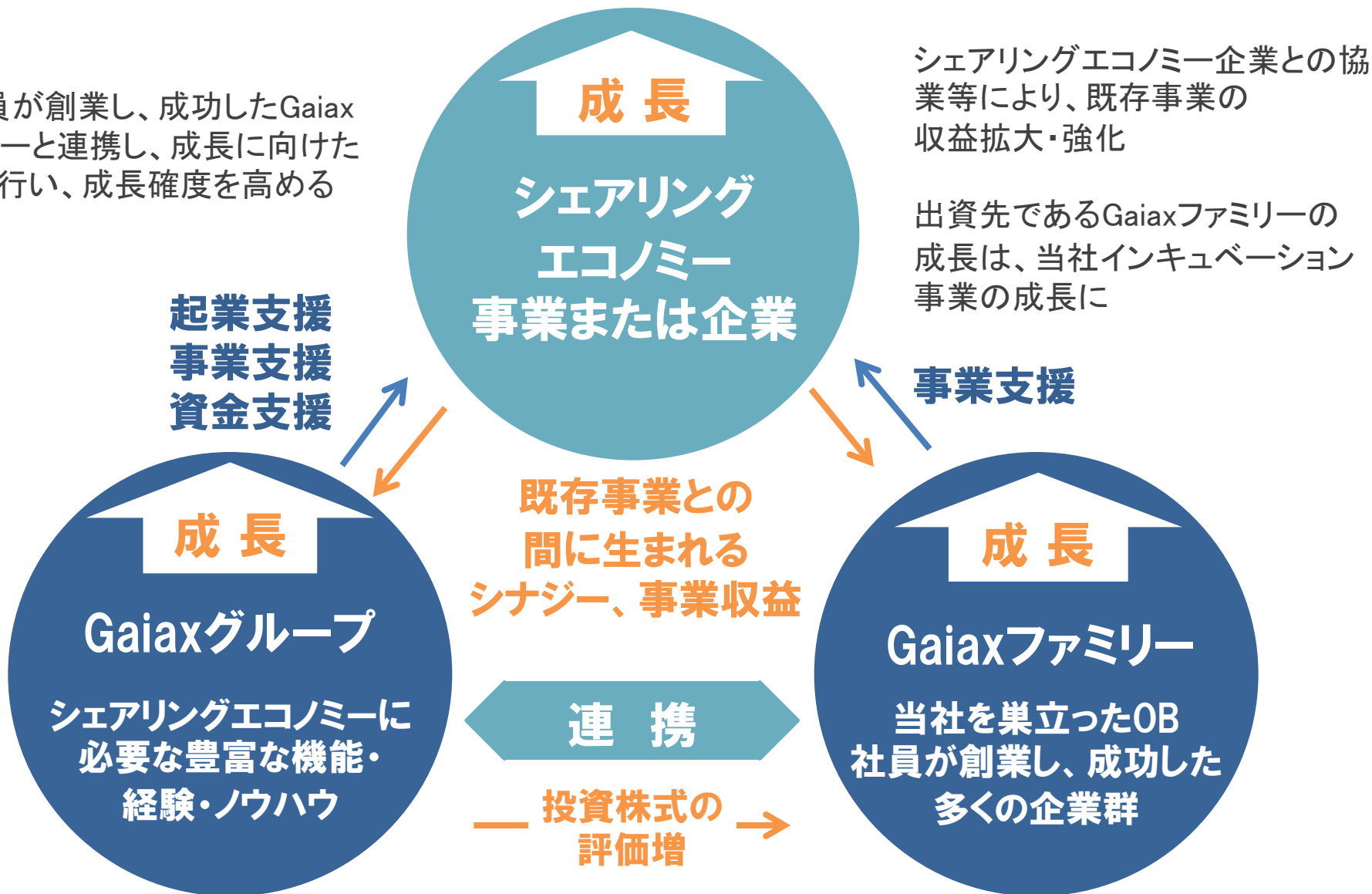


豊富なノウハウ・知見 による『目利き』力

数多くの起業・育成・成功体験を通じた
企業に対する『目利き』力を活かす
投資先の成長において高い成功確率
が見込める

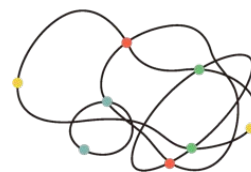
ガイアックスグループの優位性②

OB社員が創業し、成功したGaiaxファミリーと連携し、成長に向けた支援を行い、成長確度を高める



ガイアックスグループの優位性③

シェアリングエコノミー1号
投資事業有限責任組合



**SHARING
ECONOMY**
ASSOCIATION JAPAN

シェアリングサービス提供企業への投資育成

複数案件への出資を開始

2016年1月に設立したファンドから
既に複数案件の出資を実行

事業育成アドバイザー

LITALICO
りたりこ

 **APPBANK** 株式会社

**TOKYO
OTAKU
MODE**

 **PIXTA**
ピクスタ株式会社

 **sanwa
systems**

シェアリングエコノミーの普及・啓蒙、
環境整備

シェアリングエコノミー協会の設立

2016年1月に正式に発足、代表理事に就任
2016年12月には参加企業が130社を超える



APPENDIX

1

シェアリングエコノミー

2

当社の優位性と、市場への取り組み

3

シェアリングエコノミー協会の活動

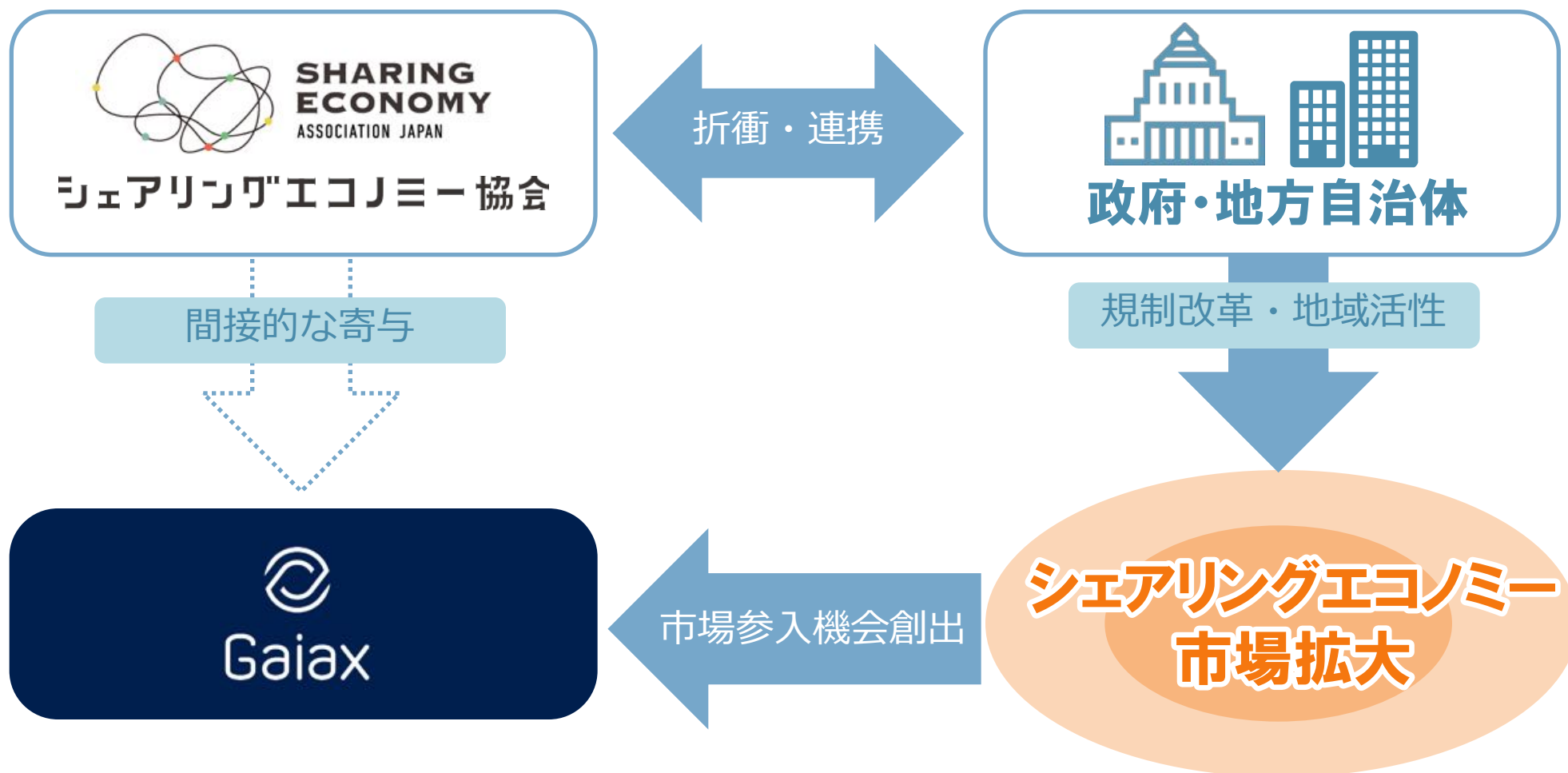
4

インキュベーション事業 投資先の紹介

シェアリングエコノミー協会

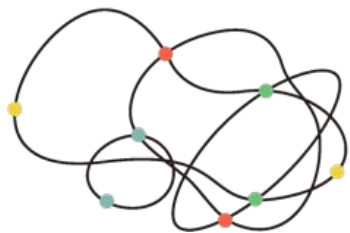
2016年1月、一般社団法人シェアリングエコノミー協会を設立し、代表理事に就任

シェアリングエコノミーの普及・啓蒙が目的。シェアリングエコノミー市場の拡大は当社にとって間接的な利益に。



シェアリングエコノミー協会 2016年の活動振り返り

シェアリングエコノミーの普及・啓蒙、環境整備に向けた活動を実施



**SHARING
ECONOMY**
ASSOCIATION JAPAN

代表理事として協会に参画

当社代表の上田が、代表理事として協会活動に尽力。
同時に、市場・参入企業などの情報も収集。

- **2016年末には会員数が130社を突破、設立から約1年で急成長**

2016年12月31日時点で、会員数は130社を超え、目標としていた会員数100社を大きく超える。
また、プラットフォーム事業者にとどまらず幅広い業界から入会があり、シェアリングエコノミーに対する興味の高まりを感じる年となった。

- **官民一体の行動① シェアリングエコノミー認証マークの施行へ**

シェアリングエコノミー検討会議をうけて、外部の認証委員会を発足。シェアリングエコノミー検討会議メンバーとともにシェアリングエコノミー認証のルール作りに協力

- **官民一体の行動② シェアリングシティ認定マークの授与（詳細はP56）**

少子高齢化により、行政サービスが従前の通り提供できなくなる見通しである中、シェアリングエコノミーによる「共助」で地域課題を解決を目指す自治体に、シェアリングシティ認定マークを授与。

シェアリングエコノミー協会 普及、環境整備に向けた取り組み

シェアリングエコノミーの普及・啓蒙や法整備に向けた活動を、シェアリングエコノミー協会を通じて実施

政府 産業競争力会議

議長
安倍晋三内閣総理大臣
第40回
実行実現点検会合



代表理事である上田より、
シェアリングシティ構想など
協会プレゼンを実施

政府 シェアリングエコノミー 検討会議

事務局
内閣官房
情報通信技術(IT)総合戦略室
第1回 7月 8日
第7回 11月 4日(中間報告)



代表理事である上田も、構成員として出席
第3回検討会では、**Notteco** がプレゼン

シェアリングエコノミー検討会議 第7回 11月4日 中間報告

・自主ルールの策定

シェアサービスの利用を促進するため、
シェアリングエコノミー協会にて来春を目処に自主ルートを策定。
個人間取引におけるトラブルや事故の回避が目的。

・政府にてシェアリングエコノミー促進センターを設置

関係省庁との連絡調整も手がけ、事業拡大を支援。
政府からもシェアリングエコノミーの推進に向けバックアップ



内閣官房主催で記者会見をおこない、協会と内閣
官房とでシェアリングエコノミーの普及を推進

シェアリングエコノミー協会 国みずから協力体制を構築

2016年11月、内閣官房IT総合戦略室内にシェアリングエコノミー推進室が設置

シェアリングエコノミー検討会議にて取りまとめられた中間報告書を受け、内閣官房IT総合戦略室内に置かれる

シェアリング事業者



- ・ 現行法令に関する相談
- ・ 自治体におけるシェアエコ活用の相談
- ・ シェアエコ普及・展開に向けた相談
- ・ シェアエコを支援する制度の紹介

自治体



- ・ ベストプラクティスの紹介
- ・ 関係省庁との調整
- ・ シェアリングエコノミー伝道師（仮称）の自治体への派遣等

政府によるバックアップ シェアリングエコノミー促進室

（室長：内閣官房IT総合戦略室長＝政府CIO）



弁護士等専門家



- ・ 法律相談
- ・ 先行的な取組
- ・ ノウハウの相談等

シェアリングエコノミー 検討会議



- ・ シェアリングエコノミー推進プログラムの進捗公表
- ・ モデルガイドラインの見直し等

関係省庁



- ・ 調整、紹介等

シェアリングエコノミー協会 シェアリングシティ宣言



千葉市、浜松市、湯沢市、島原市、多久市がシェアリングシティ宣言をNagatacho GRIDにて実施。

11月24日にシェアリングシティ宣言を実施。シェアリングエコノミー協会では地方自治体のシェアリングサービス活用をバックアップするため、地方自治体にシェアリングシティ認定マークを付与し、情報提供やギャザリングを実施。

これまで

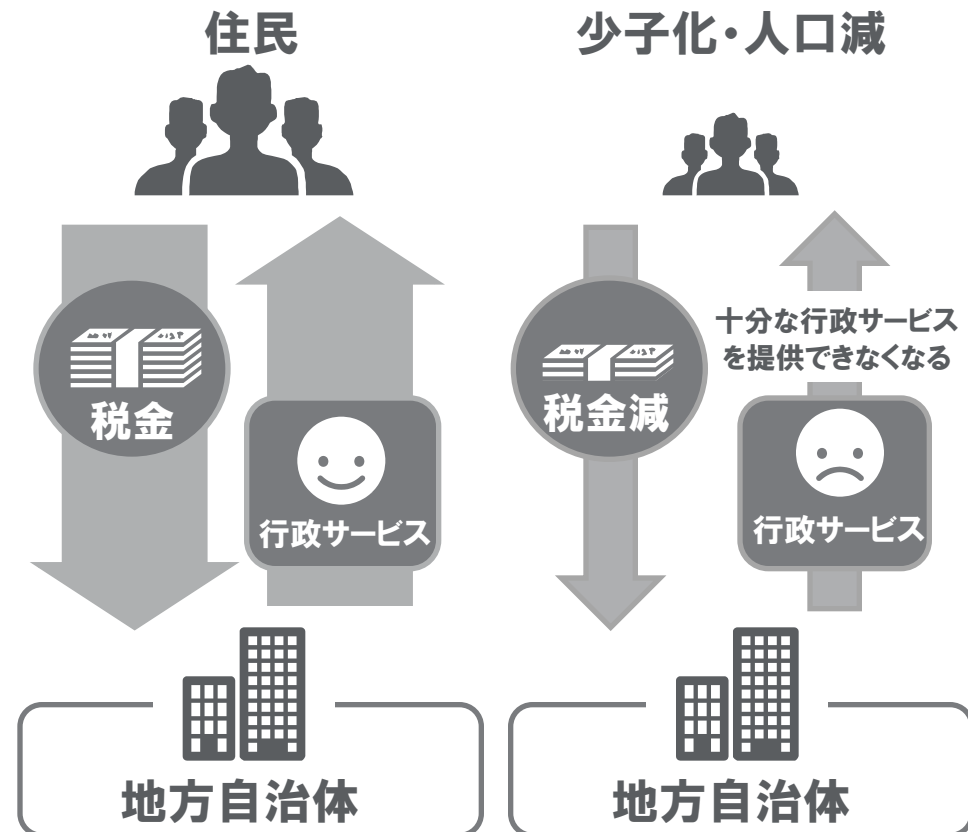
現状

これからの未来

住民

少子化・人口減

シェアリングサービスにより住民が住民を助ける



ご参考：海外でのシェアリングシティ推進

行政主導型

ソウル市が主幹

概要と実施策

- | | |
|---------|--|
| 2011/10 | 市民団体の代表等を務めてきたパク・ウォンスン氏がソウル市長に就任 |
| 2012/ 9 | パク氏が、「 シェアリングシティ・ソウル 」宣言
「シェアリングシティ・ソウル推進計画」を発表
市役所にソーシャル・イノベーション局を設置 |
| 2012/12 | 「ソウル特別市共有促進条例」を制定し、「シェアリング」の定義や今後の方針を明示 |
| 2013 | 「シェアリング企業」64社に対し財政支援 |
| 2014 | 自治体(市内25区)へ補助金を助成し、各区が民間のシェア取り組みをサポート |
| 2015 | 市内の中学校・高校でシェアリングエコノミーに関する教育を導入 |



民間主導型

民間団体「shareNL」※が主幹

※オランダにおけるシェアリングエコノミー協会

概要と実施策

- | | |
|---------|---|
| 2013 | ShareNLが設立される |
| 2015/ 2 | 「アムステルダム・シェアリングシティ」宣言
シェアリングエコノミー企業間のコラボレーションを創出
個人・企業・政府などに呼びかけ、シェアリングシティ推進に協力
するアンバサダーを募集 |
| 2016/ 4 | 「アクションプラン」発表
市内の高齢者や低所得者を対象に、“City Pass(シェアリング
サービスの割引券)”を発行し、様々な市民がサービスを利用
できるよう促進 |



APPENDIX

1

シェアリングエコノミー

2

当社の優位性と、市場への取り組み

3

シェアリングエコノミー協会の活動

4

インキュベーション事業 投資先の紹介

グループ内



日本最大級の相乗り マッチング型 ライドシェアサービス

ドライバーが、ドライブ情報と車の空き座席数を事前に掲載することで、同じ区間を移動したい希望者がドライブに相乗りできるサービス。

海外最大手のBlaBlaCarは、世界約20か国で2000万人以上のユーザーに利用され、企業評価額も12億ドルとも言われており、将来性が非常に期待されるサービスとして大きな注目を集めている。



2016年の動き

2016/7/5 相乗り代上限金額制限機能を追加

2016/8/2 会員登録数25,000人突破

グループ内



地元の人と交流ができる 地域体験予約サイトを運営

その地域の暮らし、食、芸術、技術を、地元の人から学ぶことができる、体験予約サイト「TABICA」を運営。

2015年1月にサービス提供を開始。「その地域ならではの暮らし」を見える化し、誰もが体験できる、地方活性化に繋がるサービスを目指す。

2016年11月には、シェアリングシティ宣言自治体との提携を実施。

各自治体に対し、集客や体験主催のノウハウを提供し、公助から共助への動きに貢献。

また、関東圏のみであったプランを全国規模へ拡大、インバウンド観光客へと更なる参加者増を目指す。



2016年の動き

- 2016/9/6 非公開の国宝円覚寺舍利殿ツアーを開催
- 2016/9/20 「オフィスおかん」とサービス連携開始
- 2016/9/26 農水省農業女子プロジェクトと農業女子応援企画実施
- 2016/9/29 埼玉県横瀬町「よこらぼ」のお披露目イベントに「TABICA」が登壇
- 2016/11/2 埼玉県横瀬町の官民連携プラットフォーム「よこらぼ」のプロジェクトに採択される
- 2016/11/24 千葉県千葉市、静岡県浜松市、佐賀県多久市、長崎県島原市と連携

グループ内



株式会社Tadaku

外国人先生による 家庭料理教室

日本に住む外国人が、彼らの自宅で自国の家庭料理を教える、料理教室のマッチングプラットフォームのサービス。

世界中の人々がもっている「料理をする」「食べる」という文化を通して、国際交流を行う。

海外旅行・ホームステイに変わる、手軽な国際交流・異文化体験の「**半日ホームステイ**」という新たな経験の提供。



2016年の動き

2016/10/31 10月末時点でホスト数は半年で約400%成長、ホストは63ヶ国までカバー

2016/12/17 東京メトロの経営資源活用コンテストにて「東京メトロアクセラレーター賞」を受賞

2016/12/31 12月末時点でホストは70ヶ国、300名以上に

グループ外（シェアリングエコノミー関連）



株式会社 百戦錬磨

国家戦略特区法を活用した民泊サービスを展開

完全子会社・とまれる株式会社にて、国家戦略特区を活用した民泊サービス「STAY JAPAN」と、復興庁東北先導モデル事業である農林漁家宿泊予約サイト「とまりーな」を提供。

また、スポーツイベントのマッチングサイト「JOINTly SPORTS」、JAグループ主催の農業関連イベントのマッチングサイト「JOINTly GREEN」も提供。

2016年4月には、その将来性を評価され、**(株)海外需要開拓支援機構(クールジャパン機構)**、**京王電鉄(株)**等から、**総額約14億円の資金調達**を実施。

国家戦略特区を活用した民泊サービス



復興庁東北先導モデル事業である農林漁家宿泊予約サイト



2016年の動き

- 2016/7/7 沖縄本部町エリアにて民泊事業推進
- 2016/7/28 日本シェアハウス協会と業務提携
- 2016/9/15 阪急不動産と業務提携
- 2015/10/11 NTT西日本と「民泊サポートパック」を試験提供
- 2016/10/27 ANAセールスと「体験型民泊」で協業開始
- 2016/11/2 JAL×農協観光×百戦錬磨コラボ動画コンテンツ公開

グループ外（シェアリングエコノミー関連）



軒先株式会社

空きスペースを商用貸出 できるスペースシェアや、 駐車場シェアを展開

1日からお店やイベントを開けるスペースを探せる、マッチングサービス『軒先ビジネス』を展開。「軒先から始めよう、最初の一步」をミッションに、誰でも1日単位でお店を開くことが可能で、起業環境の改善を図ることを目指す。

また『軒先パーキング』では、駐車場を所有しているオーナーと、外出先で駐車場を利用したいユーザーをマッチング。駐車場の空き時間登録だけで、空き時間のみ予約可能なコインパーキングとして貸し出すことが可能。利用ユーザーは、出かける前の予約で、外出先での駐車場探しに困ることもなくなります。

『軒先ビジネス』 1日からお店が開けるスペースシェア・サービス



2016年の動き

- 2016/7/7 タマホームと駐車場シェアにつき提携
- 2016/7/19 アイシン・エイ・ダブリュとサービス連携
- 2016/10/18 日本ユニシスと飲食業向けスペースシェアサービスの市場拡大を目指し協業
- 2016/11/1 株式会社シーアールイーと不動産の有効活用につき提携
- 2016/12/7 株式会社スペイシーとスペースシェアサービスの利用拡大を目指し協業
- 2016/12/15 西武信用金庫と遊休不動産活用の活性化を目指し業務提携

グループ外（シェアリングエコノミー関連）



累計利用者数30万人の 会議室シェアサービスを展開

“簡単・便利・安い”を合言葉に、ビジネスミーティングに適した場所を提供する会議室のマッチングプラットフォームサービス「スピーシー」を展開。

個室でプライバシーが守られる点や、遊休資産の有効活用という点で各メディアにも注目され、近年急速にサービス利用が進み、既に累計利用者30万人を突破。

同社は、世界で元もアクティブなシード投資ファンドである**米国の 500 Startups**および**その日本向けファンド 500 Startups Japan**から出資を受けた国内初の共同出資案件。

今後も、サービスの機能追加に向けての開発と会議室の掲載獲得をさらに加速。



2016年の動き

- 2016/8/19 500 Startups、BEENEXT PTE.LTD、フリービットインベストメント株式会社、株式会社ガイアックスを対象とした第三者割当増資を実施
- 2016/9/29 2016年度グッドデザイン賞を受賞

グループ外（シェアリングエコノミー関連）

nutte 株式会社ステイト・オブ・マインド

これ縫って！をお願いできる 縫製クラウドソーシング

洋服のリメイクやオーダーメイド、ショップオーナー様のオリジナル商品製作からサンプル縫製まで、縫製に関わるあらゆる依頼をプロの職人に依頼できる縫製クラウドソーシングサービス「**nutte(ヌッテ)**」を運営。

たった1点からフルオーダー可能。洋服はもちろん、雑貨類やリメイクもプロの縫製職人が対応。

応募のやりとりは非公開。1対1のやりとりを匿名で行なうことが可能。



2016年の動き

- 2016/9/14 テレビ東京「ガイアの夜明け」がnutteを紹介
- 2016/10/11 総額1億円の第三者割当増資を完了
- 2016/12/6 ヤマト運輸と連携し、依頼者から職人への「資材直送サービス」開始
- 2016/12/19 アクセルマーク社と共同で「コスプレ事業」に参入

グループ外（シェアリングエコノミー関連）

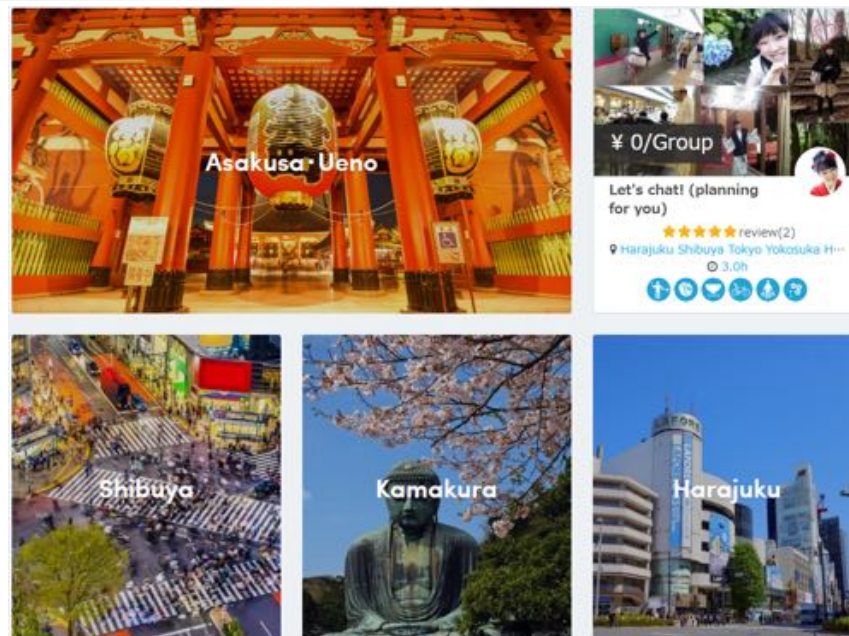
Huber. 株式会社Huber.

訪日外国人向けの観光ガイド マッチングサービスを展開

政府の「日本再興戦略 2016」が掲げるシェアリングエコノミーの推進と、訪日外国人増といった外部環境の変化をいち早く捉えた事業。

「友だちをつくることから旅を始める」をコンセプトに、通訳と現地案内人のペアと、訪日外国人をマッチングする、体験共有型のシェアリングエコノミーサービス『**TOMODACHI GUIDE**』を訪日外国人向けに提供。

旅行者の旅に寄り添い、旅の相談に乗りながら旅程を自由に作り上げ、画一的ツアーでは生み出せない本物の感動と地域の魅力溢れた体験を提供。



2016年の動き

- 2016/9/20 東急電鉄「東急アクセラレートプログラム 2016」にて「東急賞」受賞
東急電鉄の沿線に年間40万人の外国人観光客を誘致
- 2016/10/14 大分県並びに別府市に立地表明書を交付
訪日観光客の受入れ体制構築に向け協働
- 2016/12/21 ビジョン社が第三者割当増資を引き受け、業務提携を実施

グループ外（シェアリングエコノミー関連）

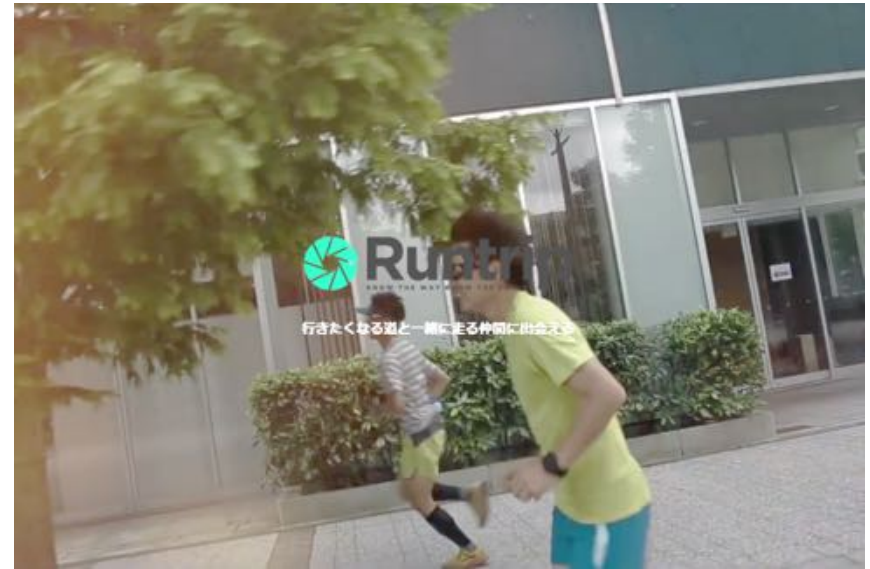


株式会社ラントリップ

素敵なランニングコースや イベントを簡単検索

旅先や知らない土地でもおすすめのランニングコースを見つけられる、ユーザー投稿型のWEBサービス「Runtrip」を提供。

ランニングをもっと身近に感じられるよう、ライフスタイルとしてのランニングを提案し、ビギナーからシリアスランナーまで楽しめるWEBマガジン「ラントリップマガジン」を運営。



2016年の動き

- 2016/8/26 JALで、いつもより遠くの道へ「マイルを当てて、ラントリップに出かけよう！キャンペーン」を開催
- 2016/9/28 近畿日本ツーリストとKDDIと連携！日本全国の温泉街と融合させた新たなスポーツツーリズム事業構想を発表
- 2016/11/2 東京都産業労働局の第3期アクセラレーションプログラムに選定

グループ外（シェアリングエコノミー関連）



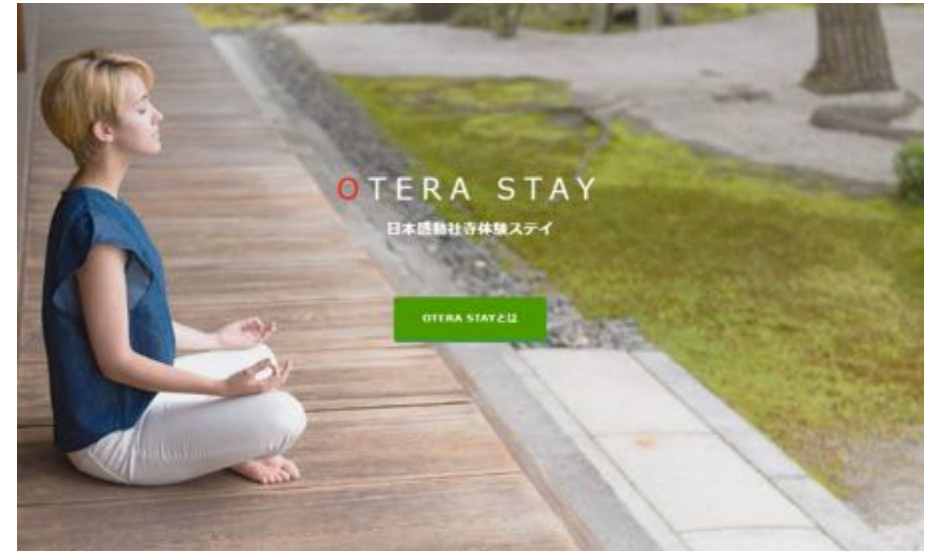
株式会社シェアウィング

「日本の魅力」と「ありがとうの感謝の輪」を世界に広げていく体験ステイサービス

社寺での滞在・体験を通して、日本文化の魅力を多くの訪日外国人や若い日本人へ伝え、非日常的で有意義な体験ができるプログラム「OTERA STAY」を運営。

華道、香道、着付などの日本文化体験に加え、精進料理などの日本食体験など、本物の日本の良さに触れる機会を提供。

今後「OTERA STAY」では、社寺と地域の新たな繋がりとブランド認知向上に努め、5年で1,000社寺の展開を目指す。



2016年の動き

2016/9/23 「未来づくり。」をキーワードとした TOKYOアクセラレーター2016(ビジネスコンテスト)でアライアンス賞を受賞

グループ外（当社の卒業生が起業した企業への投資）



Tokyo Otaku Mode Inc.

日本のポップカルチャーの 世界発信や、海外向け ECを展開

日本が誇るポップカルチャーであるアニメやマンガ文化の世界発信や、海外向けECを展開。

シリコンバレーのシードアクセラレーターとして知られる『500 Startups』はじめ、米国の著名個人投資、官民ファンドのクールジャパン機構から出資を受ける。

2014年、クールジャパン機構からは、今後3年間で最大で15億円の投資枠設定に合意し発表。



2016年の動き

- 2016/7/1 北米最大のアニメイベント「アニメエキスポ」に出展
- 2016/9/15 「東京ゲームショウ2016」に出展
- 2016/10/20 日本文化に精通したアメリカやカナダ出身の英語ネイティブで構成される翻訳チームによる翻訳サービスを提供開始
- 2016/11/24 中国の越境ECモール「天猫国際(Tモールグローバル)」内に仮想現実(VR)を活用した店舗を開設。
- 2016/12/21 りらいあコミュニケーションズと業務提携

グループ外（当社の卒業生が起業した企業への投資）



Photosynth 株式会社フォトシンス

世界初の後付型スマートロック ロボット「Akerun」を提供



Akerunは、アプリを用いてスマートフォンで鍵の開錠・施錠、ゲストへの開閉権限の発行ができるサービス。

電子錠よりも手軽かつ安価に導入できるオンライン鍵管理システムとして、オフィスや店舗などの法人向けに販売。

当社が創業時から出資するほか、2015年は(株)ジャフコ、YJキャピタル(株)、(株)ベータカタリストからも4.5億円を調達。

2016年の動き

- 2016/3/1 東急住宅リース、遠隔操作でエントランスのオートロック自動ドア開閉「Akerun Entrance」導入
- 2016/7/7 NFC対応の後付け型スマートロックロボット「Akerun Pro」発売開始
- 2016/10/25 iPhone7がカードキーになる！～Suica対応にともない、かざすだけでAkerunの入退室管理が可能に～
- 2016/12/22「Akerun Pro」のレンタルを開始

グループ外（当社の卒業生が起業した企業への投資）



マーソ株式会社

日本最大級の人間ドック・健診 予約サイト「マーソ」を運営



健康に過ごすことができる時間（健康寿命）の延伸をミッションに、医療 × IT × マーケティングという新しい事業領域での活動。

医療施設の掲載数では、国内最大級となる人間ドック・健診予約サイトの運営を行う。

また、日本の医療を商品化し訪日中国人旅行者向けに提供する健診予約サービスや、医療施設向けに専門・特化したホームページパッケージなどのサービスも提供。

2016年の動き

- 2016/4/15 経営顧問に竹中平蔵氏が就任
- 2016/4/19 日本初の人間ドック・健診向けの少額短期がん保険「マーソあんしんプラス」販売開始
- 2016/10/7 アデコ社より健康診断支援サービス事業を事業譲受

